八月十四日 夕刊

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

第三次現地交渉 正式調印を了す

細目協定を待ち外交々渉に

【○○十三日國通坂下特派員發】現地交渉第三次會見は十三日正午より張鼓峰山麓の防川項小學校で開催

一、停戰以後兩軍とも既設陣地の補强又は新たに陣地の構築をなさゞること

一、日ソ兩軍第一線部隊は現在の陣地より八十米づゝそれ〴〵後退する

の二點を骨子とする現地協定につき最後的打合せをとげ、一旦會見を終り、夕刻改めて會見、こゝに日本軍委員長大佐とソ聯赤軍委員シュテルン大將との間に協定文作成の正式調印を行ふことゝなつた、かくて引續き行はれる細目取決めをもつて現地の折衝は一段落し原狀復歸の期日、國境線の確定等は今後の外交交渉に移される事となつた

【京城國通】日ソ兩現地當局の第三次現地交渉は十三日正午より張鼓峰五二高地中間の通稱白壁の家の前に於て行はれた、即ち前日の交渉に於て停戰協定實施に關する原則的諒解を內容とする覺書調印を了したるに引續き同日は現地交渉の第二目標として現地地圖上に於る兩軍占據地を相互確認する交渉に移つたが、現地情況視察の結果に基き會談は極めて順調に進行午後二時五十分に至りつひに明細を極めた地圖上の兩軍占據地劃定を終へこゝに正式に停戰協定の署名を了するに至つた、よつて兩軍は右確認に基き各占據第一線より八十米づゝ後退せしめることゝなつたが、この後退も極めて平穩に行はれ目下兩軍は百六十米の間隔を保ち平穩裡に推移しつゝあり、現地交渉は更に細目にわたり協定を遂げるため十四日第四次會談を行ふ運びとなつてゐる、これにて現地折衝を了し爾餘の問題は擧げて外交交渉に一任されることゝなつてゐる

呂駐獨公使のアグレマン發送

駐滿獨公使のアグレマンも到着

【ベルリン十三日發國通】滿洲國政府は滿獨修好條約に基き初代駐獨公使に呂宜文氏を任命、ドイツ政府のアグレマンを求めてゐたが、ドイツ政府は十三日呂宜文氏に對するアグレマンを發送した、初代駐滿ドイツ公使ワグナー氏に對しても滿洲國よりアグレマン到着してをり、滿獨兩國政府はいよ〳〵近く公使交換を實現することゝなつた

國境劃定委員會

委員の構成につき兩者意見相違

【東京國通】十日の重光、リトヴイノフ第三次會談により停戰協定成立し、張鼓峰事件解決の第一步は踏み出されたが、外務當局では直ちに國境劃定委員會により問題地點の國境線を劃定し、國境不明確に起因する紛爭を根絕せんとするに決し引續きモスクワにおいて國境委員會設置に關する外交交渉を行はせることに決定した、しかして去る十日の會談においてはソ側は同委員會構成につき日滿側各一名ソ側二名、第三國委員一名を提案し來つたが、重光大使は第三國委員案を拒否してゐる關係上今なほ構成問題に關しても交渉の餘地が存するのみならず議事採擇その他劃定の資料などの問題もあり、右委員會成立までにはなほ一、二回の會談が必要とされるものとみられる

國境視察を終へ

外人記者團歸京語る

ソ聯不法越境に端を發した滿ソ國境紛爭地帶を親しく視察した外國記者團一行四名は現地において多大の收穫を收め十三日午後十時新京着列車で歸京し、ヤマトホテルで少憩後十四日午前零時發列車で奉天へ向つたが、ホテルで左の如き觀察談を試みた

軍及び滿洲國の友人殊に國通の各氏の斡旋に絕大なる謝意を表します、現地における一番深い印象はソ聯側の猛烈な砲爆擊下において日本軍の將士が實に隱忍自重してゐた態度の立派さである、政治的な方面に關しては私ども新聞記者としては全然關知出來ないが、今度の視察によつてゆたかなニュースを取材出來たことは非常な喜びです、八日の夜通譯を通じてソ聯の脫走兵とインタ－ヴュ－しましたがそれによつて赤軍の內容に多少でもふれることが出來たのは大きな收穫でした、ソ聯側に逃亡者のある限り赤軍自體に缺陷が事實存在してゐるのかもわかりません

鮮血を洗ひ流す 沛然たる雨

靜寂を取戻した國境風景

【○○十三日國通坂下特派員發】戰鬪中止の三日目、十三日は朝來より沛然と降る雨にすぎた、鮮血に染つた張鼓峰、沙草峰、五二高地等の連峰はすが〳〵しく洗ひ清められ連日の炎熱と硝煙にあへぐわが將兵も綠の草木もホッと一息の態である、更に十二日の現地交渉により日ソ兩軍は十三日朝より双方全線にわたり八十米後退しこゝに息づまる國境の雰圍氣はグッと緩和されたかの如き印象をうける、雨を冒して亡き戰友の墓標を作るもの、露營の土窟を掘るもの、戰の後の和やかな情景が至る所にくり展げられる、午後には閑院參謀總長宮殿下より賜つた御慰勞の御言葉が防衛司令官より第一線將士に傳達され全軍潑剌と張り切つてゐる、かくて雨に甦つた國境線は兩軍對峙の空氣も薄れ落漠と暮れて行つた

日ソ兩軍の死體 引渡しを完了す

三十一日張鼓峰奪回以來四十

【○○十三日發國通】十三日の現地交渉において日ソ兩軍の死體收容の約束が成立したので、十三日午後四時より會談場所附近で双方の死體引渡しを行ふことゝなり、わが方は去る卅一日張鼓峰奪回以來ソ聯側が戰場に遺棄した死體約四十を鄭重にソ聯側代表に引渡した

餓えた匪賊無暴！ 濟南市を襲ふ

忽ち一撃に遭ひ悉く殲滅

【濟南十三日發國通】十二日拂曉皇軍入城以來はじめての匪賊の濟南襲擊があつたが、わが鐵壁の警備隊と**皇軍**の神速な反擊に一たまりもなくやつゝけられ敗走、かへつてその無茶ぶりが失笑されて濟南在留日本人達は勿論、華人達も何時に變らぬ皇軍の威力に感嘆し、市中は平常と變らない明朗さをとり戻してゐる

十二日午前六時半頃章邱縣附近に蠢動してゐた匪賊で、自稱六十九軍先遣隊二挺隊、孟兆秦の五、六百が折柄の降雨を冒して無暴にも皇軍によつて警備されてゐる濟南城東側に迫つて襲擊し來り、その一部百餘は城壁東南方永高門附近の城壁を梯子で乘越えて侵入した、わが城內警備の○○部隊は數日前からの情報で待機中なので敵の一部が侵入するや直ちに城門を一齊に固めて**袋の**鼠として一部をもつて城內掃蕩に着手しわが主力は逸早く南門、東門から出動、○○部隊長の率ゐる一隊は城外北側から敵の背後に迫り城外東側地區で抵抗する匪賊を三方より包圍して東方、東南方に潰走せしめたが、わが軍は郊外の高粱畑迄追擊して敵の遺棄死體百餘に上る大打擊を與へ殘餘の匪賊は生命から〴〵濟南東南方の山中に遁入した、更に城內の敵は城內外の交通を遮斷され或は抵抗し或は狼狽し民家に潜伏したが憲兵隊、警備隊協力のもとに日沒までには殆んど掃蕩を終了、なほ引續き檢索を行ひスパイの容疑者四十名を檢擧嚴重取調中である、この結果敵の損害は遺棄死體を入れて二百餘に上る見込で、捕虜約二十、小銃彈藥多數に上つたが、わが損害戰死二である、警備部隊が餘りにも**神速**に鮮かに匪賊を擊退したので在留日本人達もあとから事件を知つて吃驚したほどで十三日は平常通りの明朗さにかへつてゐる、捕虜の自白によれば彼等は最近食糧が缺乏し無暴にも食糧奪取の爲濟南襲擊の擧に出たものである、これら匪賊連は何れも最近地方農村から强制的に徵募されたもので農綠色の制服をつけ六十九軍の腕章をつけてゐるが首には便衣を包んだ風呂敷包をしばりつけいざとなれば便衣に着かへて逃走する準備をしてをり、わが將兵、日本人居留民支那市民迄を失笑させてゐる、なほ警備隊の柳原正一軍曹（三七、富山縣中新川郡滑川町出身）は十二日午前八時頃城內新東門附近で**匪賊**の掃蕩に白刃をきらめかして敵を倒した刹那敵彈のために壯烈な戰死を遂げた

張鼓峰事件の停戰協定まで（下）

ソ聯の野望遂に水泡に歸す

△八月一日　一日午後二時三十分ソ聯飛行機は編隊を以て圖們江下流方面より滿領甑山及び水流峰並に朝鮮領金草場方面に不法越境し來りたるを以て我警備隊はこれを射擊し甑山に於て二機洪儀南方四キロに於て二機を擊墜別に水流峰に於て一機を擊墜した、駐ソ大使館一等書記官宮川船夫氏は一日午後三時外務人民委員部に日本課長を訪ひ張鼓峰事件に關し抗議した

△八月二日　滿洲國政府は張鼓峰事件に關し二日午後ソ聯政府に對し嚴重なる抗議をなし、在哈下村特派員を通じグヅネツオフソ聯總領事代理をしてモスクワ政府に傳達せしめると同時に聲明を發し滿洲國政府はソ聯側に於てその非を改むるに於ては何時たりとも本事件の平和的處理のため外交々渉に依り適當なる手段を考慮する旨附言した、二日午前九時過ぎ約一大隊のソ聯部隊は戰車九臺と共に張鼓峰に對し逆襲し來つたが我が張鼓峰守備隊のため擊退せられ、うち戰車三臺は大破して戰場に遺棄せられた、同日午前七時三十分再び十數機の飛行編隊が越境し張鼓峰及び九沙坪上空に飛來爆彈を投下、更に同日午後六時ソ聯機編隊は古城方面に飛來し爆彈を投下した、張鼓峰の敵は新に增援を得たものゝ如く二日午後三時頃より步兵三、四ケ大隊及び砲十九門、戰車卅臺を以て洋館坪方面より沙草峰方面に對し逆襲し來り彼我の距離約二百米に近接したるも我猛烈な銃砲火に阻止擊退され約四百米後退、夕刻迄對峙同夜八時執拗にも再び攻擊し來れるを以て更に之を擊退、宮川一等書記官は二日午後外務人民委員部にミロノフ極東部長を訪ひソ聯軍用機の越境爆擊事件につき嚴重抗議を提出した

△八月三日　三日午前四時よりソ聯軍は我に數倍する兵力を以て前後六時間に亙り張鼓峰、沙草峰正面に攻擊し來りたるも午前十時遂に擊退され約千米後退せり、外務當局はソ聯の不法行爲に對し三日重光大使宛嚴重抗議をなす樣訓令した

△八月四日　重光駐ソ大使は四日午後モスクワに於てリトヴイノフと會見國境事件に關するソ聯兵の不法越境並に挑戰的行動に對し嚴重抗議を行ひ直ちに右不法行爲停止のため必要なる措置を講ずるやう要求し、一方外務省ではスメタニン駐日ソ聯代理大使を招致し、四日午前十時堀內次官が會見豫てソ聯側より事實を歪曲してわが方に提示せる逆抗議書に對しソ聯兵の不法行爲の事實を逐一指摘して之を反駁しソ聯側の反省を求めた、張鼓峰前面に於るソ聯步兵は時々我第一線を射擊せるも狀況大なる變化なし

△八月五日　五日拂曉ソ聯軍砲兵は我に向ひ緩慢なる攻擊を續行しあり軍用機數機越境し來れるも地上射擊により擊退、堀內次官は正午スメタニン駐日ソ聯代理大使を外務省に招致し四日同代理大使に双方戰鬪行爲停止に關する提議をなし本國政府へ傳達方を求めたるに拘らずソ聯側は五日又復わが沙草峰、張鼓峰陣地に對し砲擊をなしたる事實につき嚴重抗議した

△八月六日　六日午前六時三十分より同五十分に亙り長池南端の對岸二九高地にソ聯步兵一大隊、戰車五十臺、沙草峰北方に步兵一大隊、戰車六十臺展開攻擊準備中なるを發見し之に砲擊を加へ四十五臺を破壞し企圖を挫折せしむ、同日午後三回に亙り四十機張鼓峰內の甑山、洪儀驛、四會驛附近を爆擊この際一機を擊墜した

△八月七日　朝來越境し爆擊又は銃擊せる敵飛行機は延機數百機に達し洪儀驛附近の鐵道、砲兵陣地、渡船場、張鼓峰、水流峰、慶興橋、チグロワヤ山、五家子附近に爆擊せるも我損害輕微、張鼓峰正面に逆襲せる敵は依然五二高地前方に停止、水流峰の敵は逐次兵力を增加し約三大隊となり、三、四百米の線に停止、砲兵は本日も依然砲擊を繼續したが昨日に比しやゝ低調、飛行機の行動は機數增加に拘らず不活潑となつた、重光大使は七日午後五時半外務人民委員部にリトヴイノフ外務人民委員を訪問、去る四日の第一次會談に引續き第二次會談を開始し、重光大使より現狀のまゝ戰鬪行爲を中止して國境確定の問題を處理することに合意し本件を平和的に交渉しては如何と提議した、リトヴイノフ委員は前回同樣日本軍の國境線外に撤退する事が先決條件であると主張して讓らず遂に物別れとなつた

△八月八日　六日迄の敵の死傷は累計約千五百に達する見込み、尙外に戰車百臺を破壞し飛行機六機を擊墜せる事確實なり、右六機中二機はわが領土內に擊墜せり

△八月九日　宮川駐ソ大使館一等書記官は九日外務人民委員部にミロノフ極東部長を訪問、去る七日滿ソ國境十八號界標附近に於るソ聯兵の不法越境衝突事件につき抗議した、九日日沒頃よりソ聯軍、山砲、機關銃を有する約二ケ大隊のソ軍は張鼓峰方面に對し執拗なる攻擊を反復せるもわれは悉く之を擊退、敵に相當大なる損害を與へた

△八月十日　張鼓峰前面のソ聯軍は我と約五十米を距てゝ對峙しソ聯軍の兵力は約二ケ大隊、五二高地、沙草峰方面には變化なきも水流峰及び下隊峰に緩慢な砲擊あり、重光駐ソ大使は十日午後七時外務人民委員部にリトヴイノフ委員を訪問、前回に引續き張鼓峰事件につき第三次會見を開始し、本國政府の訓令に基き現地に於る日ソ兩軍の戰鬪行爲停止に關する新提案を提示したがソ側も之を受諾し茲に停戰に關し遂に兩者間に意見一致し同夜十時暫定的停戰協定が成立するに至つた（寫眞は敵機の墜落する刹那）

敵重爆五機を餌食に

空の三勇士偉勳

【○○十三日發國通】十二日午後五時頃北方から小孤山にも九江を空襲せんとした敵SB重爆五機を折柄上空哨戒中の林一空曹、眞野、松本三空曹のわが戰鬪機が發見三機編隊も鮮かに敵を急迫した、わが戰鬪機の接近を知つた敵機は搭載爆彈を長江に放棄して身をもつて南昌方面に逃れんとしたが及ばず林機により鄱陽湖西岸で一機を擊墜せしめられ更に續く松本、眞野各機の必中の一發にSB二機は火焰に包まれて墜落、南昌飛行場附近で最後の二機もわが機銃の餌食となり火の玉となつて擊墜せしめられた、林機は機銃彈を射ちつくしてしまつたが、最後の火焰の機から落下傘で脫出した敵搭乘者を追ひかけ勇敢に機の尾翼で落下傘を破り脫出者を地上に叩き落してしまつた、三機はかくして凱歌をあげて歸還したがこの勇士松本、眞野、林三空曹は何れもさきに南昌上空で戰死を遂げた空の至寶故南郷少佐の部下で同じ南昌の空で敵五機を屠つてをり今更の感慨にふけつてゐる

定期敍勳

【東京國通】畏きあたりでは十三日文武官二千七百九十九名に對し定期敍勳の御沙汰があつた、主なるもの左の如し

授旭日大綬章（各通）
陸軍大將 寺內壽一
海軍中將 長谷川淸
海軍中將 鹽澤幸一
陸軍中將 後宮淳
陸軍中將 藤田進

勳一等、授瑞寶章（各通）

人事往來

着京

▲玉置正治氏（會社員）十三日來京ヤマトホテル ▲山口德忠氏（同）同 ▲並木武夫氏（同）同 ▲光武時晴氏（同）同 ▲田宮壽三氏（國際）同 ▲泉芳政氏（同）同 ▲勝沼精藏氏（教授）同 ▲佐藤汎愛氏（滿鐵）同 ▲天野不可止氏（鞍山建材）同 ▲國都ホテル ▲野村啓一氏（山邑商會）同 ▲田嶋一郎氏（會社員）同 ▲西原寬直氏（會社員）同 ▲圓座俊平氏（大朝）同 ▲櫻井特設氏（畜產）同 ▲森本一郎氏（會社員）富士屋 ▲西德藏氏（教員）同 ▲高橋利夫氏（鐘紡）中央ホテル ▲井東信夫氏（滿拓）同 ▲大本延邑氏（滿鐵）同 ▲谷口晃（同）同 ▲米屋由治氏（常設館）同 ▲前川一郎氏（特產）滿蒙ホテル ▲淺野十郎氏（協和會）國際ホテル ▲加藤勇氏（木材商）同 ▲山田潔氏（會社員）同 ▲尾關治良氏（官吏）同 ▲浩賀常一氏（教授）同

出發

▲伊藤寅男氏 大連へ ▲佐々木保次郎氏 奉天へ ▲辛島寬太氏 大連へ ▲西村建治氏 奉天へ ▲高橋岩太郎氏 同 ▲林正次氏 大連へ ▲古城鳳秀氏 同 ▲宇野久雄氏 鞍山へ ▲椎名進氏 奉天へ ▲水知忠淸氏 同 ▲山室辰之助氏 同 ▲入部泰藏氏 哈市へ ▲西榮介氏 奉天へ ▲有本邦太郎氏 奉天へ ▲奥村四郎氏 鞍山へ ▲內藤雄三郎氏 奉天へ ▲水木龍氏 吉林へ ▲上野誠一氏 奉天へ ▲森田富氏 哈市へ ▲筒井守政氏 同 ▲小坂好治氏 瓦房店へ ▲時津風統脉氏 市中へ ▲山形剛夫氏 瓦房店へ ▲土居一郎氏 奉天へ ▲森本一郎氏 同

その日く

□その脆弱さを暴露したにせよ大なる敎訓を得たとしたらソ聯も瞑すべきだらう

□いまさらに皇軍の威武が世界の眼の前に發揚されたのを知る

□鐵條網の向ふから食編を與れと言つたりする、悲喜劇的場面

□國都すでに爽秋の氣動き、賑ふスポーツも良い記錄を作らう

□燈火管制訓練等にもこの際良い成績をあげて欲しいものである

協和會地域別分會 八月末迄に結成
六十四分會から百廿二分會へ
眞に國都の民族協和を具現

協和會首都本部本年度最大事業方針として宗敎別、民族別職能別分會を全部地域別分會に改組眞に民族協和を

具現 せしめ更に農村地域に新分會を結成し農民道場として全國に模範的な組織體とすべく研究計畫を進めてゐたが、大體左の如く改組、新結成案の具體化をみた、これが完成に依つて首都本部の組織は全く理想的な體制を備へることとなる譯である

▽**現狀維持**
吉野區、八分會、敷島區、三分會

▽**改組**
一、大經區
滿明街、西四道街、九聖街大經路、永春路、南關大社自强街
二、長春區
長安屯、興運路、東大奔、長通路、永長路、東三道街長春街
三、和順區
民豐路、嶺東路、吉林大路臨河街
四、寬城區
孟家橋、陳家屯、寬城子、散步圖、軍用路

△**新結成**
一、合隆區
家溝子、老西窩棚、崔家營子
二、大屯區
范家屯、東大房身、大隨家

三、順大區
義和路、同治街
四、東光區
通化路、南嶺
五、興安區
櫻木町、滿和街、北安路、興樂路、興安大路、城後路雲鶴街、東西陽路
六、東站區
東新京鐵北、東新京鐵南
七、南河東區
千洞、靠邊孫
八、北河東區
金錢堡、八里堡、楊家店
九、淨月區
拉々屯、腰站、何家屯
十、雙德區
雙德店、黑咀子、三家子店
十一、敷島區
菊水町
以上の分會數に官廳、會社の準地域別分會五十三、朝鮮人分會一を加へると國都の協和會分會數は六十四より

一躍 百二十二分會に飛躍する譯であるが八月末日迄には全部の改組新結成を終へる見込みである

全滿軟式庭球大會
華々しく開幕
新京、撫順、奉天先づ一勝

初の選手權を目指して集まるチーム日滿合せて十一、昨日來の雨にコートのコンデシヨ……

全滿軟式庭球大會は豫定の如く十四日午前九時より同治街電々コートに於て催されたが當日は絶好の庭球日和に惠まれ開會に先立ち型によつて選手の入場式を行ひ會長代理川村副會長の挨拶に次いで春日審判長の注意あり試合の火蓋は切つて落された、午前中の戰跡左の通り

▲第一回戰

四平街			新京
南（吉田）	一―四		嚴（江崎）
李（永澤）	〇―四		向井
吳（金亨）	四―二		工藤（谷岡）
吳（金亨）	〇―四		嚴（江崎）
撫順			開原
根岸（矢野）	四―二		崔（金）
伊藤（野崎）	四―二		張（張）
鈴木（中村）	四―二		朴（磯崎）
吉林			奉天
田中（松下）	〇―四		本郷（安田）
阿蘇（白）	〇―四		坂本（兒玉）
菊地（岸川）	一―四		大石（川眞田）

男子籃球選手權大會

新京男子籃球選手權大會は十四日午前十時より西公園競技場に於て開催された、新京最……

畏し皇帝陛下
勤儉節約の範を垂れさせ給ふ

畏くも皇帝陛下には暑氣の候にも拘らせられず御體愈々御健勝に亙らせられるが昨今の御日常は午前六時半御起床、國家の安泰、民生の康寧を御祈念の後朝食は御習慣によつて御攝り遊ばされず、僅かに御茶を召上られた上、各種の新聞を御精讀、それより勤民樓に御出ましになり御政務をみそなはせられる、午後は御中食後運動、讀書、習字等を遊ばされ、午後五時より六時までの間は坐禪の御時間にて御缺かしなく御居間に行坐冥想遊ばされ御心氣の澄澄透徹に努められ、御夕食は御近親の方々と御共に攝らせられた後、夏の宵のひとゝきを御團欒に御過しになられ午後十一時頃御就寢遊ばされる御由である

御叡慮なる皇帝陛下には盟邦日本が暴支膺懲の聖戰を大陸に展開して以來、これまでに御躬ら數々の範を國民の上に垂れさせ給ふたが洩れ承るところに依れば、最近は非常時局に鑑みさせられ畏くも御躬ら諸事御節約を旨とせられ、御避暑を御取止めになられたばかりでなく、御居間や御政務室等に氷柱を立てることさへも御許し遊ばされず、ひたすら國務に御精勵、御宴會娛樂等も御廢止遊ばされ、また御召物などは一切新調を排されて、ワイシャツ、靴下の類も洗濯したものを幾度も御使用になり、御食事も極めて御質素なものを御攝り遊ばされるので側近者一同、日滿一德一心の御聖德の程を眼の邊りに拜して恐懼感激してゐるが、まことに畏き極みである

けふのスポーツ

（上）全滿軟式庭球戰入場式（下）男子籃球戰

新京神社の一
家庭から集つた屑鐵
倉庫に山をなす
第一回分を明日處分獻納

本社提唱に依りさる一日から行はれてゐる國都市民の家庭から屑鐵類を一掃し新京神社へ持參獻納運動は時局を反映する市民の覺悟に多大の反響を呼び日を追つて益す熾烈となり僅か二週間で、新京神社の倉庫はこれ等市民の持寄つた零細な縫針、簪針、空罐、屑鐵、銀紙等で殆ど一杯になる盛況を示してゐる、これによつて明十五日午後本社並びに新京神社では係員立合の上第一回の處分を行ふことになつてゐるが市民の赤誠の結晶が初めて實を結ぶわけである、斯くして處分された金額はその多寡に拘はらず直ちに軍部に獻金しその都度紙上に發表するなほ處分は新京神社倉庫に於て實施するにより市民の參觀は隨意である

移民の衞生を積極的に研究
新に移民衞生委員會設置

國策大量移民の遂行につれて移民衞生問題は過般の赤痢蔓延によつてこれが對策が極度に重要視されるに至り、滿拓民生部保健司、拓政司等各關係機關では種々研究を重ねてゐるが、移民衞生問題は單に醫療機關を整備するの外住居の構造、位置、食料、地下水利用、排水等の諸問題を包含し更に移民地風土病も輕視出來ぬ廣範圍なもので當面の問題として簡便なる醫療機關を設備するが、更に全面的根本方針を決定する必要があるので從來の關東局內に設置されてゐた關東局移民衞生調査委員會の研究を基礎とし各方面權威者を網羅して移民衞生委員會を設置し萬全を期することになつた

毒ガス講演會
滿洲防空協會主催の毒ガスに關する講演會は八月十五日午後一時より軍人會館で開催される講演者は斯界の權威陸軍科學研究所山田技師で同協會では市立醫院、滿鐵醫院を始め市內醫院藥劑師その他の衞生關係方面に多數案內を出したが一般市民多數の來聽を希望してゐる

自動車泥棒
餘罪續々自白

十日午後六時二十分大經路電々ラヂオ營業所で消えて九時三十分頃東七馬路永康莊横に乘棄てゝあつた朝日通亞細亞タクシー柳澤信子さん運轉の一四八八號自動車を乘棄てた犯人は當夜燈火管制第一日の街を非常警戒中であつた中央通署隈、杉野兩刑事に依り西五馬路四七號地點で捕へられた江原道金化面生れ住所不定孫南日（二一）の見込であつたが、何しろこの半島青年捕へられる際隱れるにことかいて糞尿溜りへ身をひそめてゐたのでその臭いこと、おかげで中央通署の留置場はしばらく異臭紛々たる有樣、臭氣の消えるを待つて先づ市街を乘廻してゐる間遇然會つた同じ亞細亞タクシー運轉手に盲賞驗させた所本人に間違ひなしとのことで取調べを進めた所單なる自動車泥棒どころか七月十六日圖們で一稼ぎ後來京市內各所を荒し廻つてゐたもので、十四日まで判明の分は七月廿一日北安路市營住宅北爪保雄氏宅でカメラ一つ狐襟卷二枚、金時計一個、廿五日電々宿舍（被害者不明）で洋服一着、ラヂオ一台、ビール六本、八月七日朝日通八七藤澤裕氏宅で洋服四着、時計三個、現金七十圓を竊取したこと判明尙餘罪ある見込で取調中

この涼しさは
一時的のものです

三十二、三度附近を上下猛暑を續けて來た國都の氣溫は十三日朝より急激に下降し始め十三日は驟雨模樣の强風が吹いてうだつてゐた國都の人々に膚寒く感ぜしめるものがあつた、水銀柱は十三度の間を上下し、そのまゝ十四日に持ち越して秋來る、短い夏はかけ足で過ぎて早くも秋の前奏曲を市民は聞いた、だが本當の涼しさは矢張り九月に入つてからだ、三寒四溫で再び殘暑が訪れるであらう

ン惡くプレーに不自由を感じながらも選手の意氣益々盛んに白熱戰を展開した
中銀42―20民生部

ネオン街の營業
午前一時嚴守
中央通署長から注意喚起

國都の空を紅紫に染めてゐたネオン消えて非常時局下歡樂街の肅正は名自の自戒の下に進みつつあるが、最近當局の方針を無視して規則違反を敢て行ふものが相當有る模樣で首警保安科では各署に對して取締りの一段の强化を通達したが、これに基いて先づ中央通署では十三日午後三時より署長室に管下カフエー、料理店、麻雀俱樂部營業主を集めて小澤署長より自肅自戒を忘れざる樣注意を喚起した、この方針に依れば營業時間の無制限に長きカフエー續出の弊に應じて營業は斷乎として午前一時限りに取締られることが注目をひいてゐる

社金を拐帶ダンサーと道行

東京吉澤商店哈爾濱支店員高田穆（二三）は本年二月店の金二百圓を費消、之がため東京本店へ轉勤を命ぜられ爾來自暴自棄となり、更に本店の金五千圓を拐帶哈爾濱に戀しさに同地に舞戻り同地で關係のあつたキヤバレのフアンタージヤ方ダンサー白系露人のケルンテーと手に手を取つて新京、奉天と流れ歩き更に十日午後九時五十分大連驛に着いたところを大連署員に逮捕された、なほ拐帶金は三千五百圓を剩してゐた

御遺骨凱旋

記念公會堂で市民有志多數參列の上しめやかな御通夜を明かした北滿聖戰の皇軍勇士御遺骨五十六體は十四日午前十時記念公會堂出發軍部代表、鄉軍、國婦、日滿中小學生生徒市民有志沿道に堵列奉送する中を吉野町を經て中央通りに出で新京驛に到濟、ホームに於て燒香の上同十時半營口行列車で一路南下した

赤峰―林西―林東間交通杜絶

十二日林西縣長よりの報告によれば去る六日の豪雨により赤峰、烏丹城間の橋梁流失のため赤峰、林西間は向う三週間交通杜絶、林西、林東間もガソリンの補給つかず當分運行の見込み立たず

建國の蔭に哭く
永井未亡人歸鄕
二つの遺骨を抱いて

關稅制度の確立をはじめ滿洲建國に不朽の功績を殘した國務院企畫處參事官永井哲夫氏逝いて月餘、いまだ傷心の袖乾かざるに同家ではさらに去る十日愛息秀男君（一才）を續けて失ひ、十二日野邊の送りをすませたが、この重なる不幸に悲しみのドン底にある未亡人榮（三〇）さんは、いまはたつた一人の忘れ形見宏（六）君とゝもに夫君と愛兒の遺骨二つを携へて十六日（午前十時の新京驛發はと）思ひ出の新京を後に兵庫縣氷上郡上久村下瀧の夫君の鄕里に淚の歸鄕をすることゝなつた、

語學檢定試驗
社員のみに限定

滿鐵語學檢定試驗は從來在滿人總てに對し行はれてゐたが昨年十二月滿鐵の地方行政移讓により來る九月四日全滿、蒙疆、北中支六十二ケ所に於て行はれる滿鐵第十七回語學檢定豫備試驗からは、受驗者の範圍を滿鐵社員のみに限定することゝなつた、今回の受驗者は特に日本語熱旺盛を物語り日本語の受驗は昨年の二倍といふ素晴らしさで既に締切つた受驗者人員は左の如し

△日本語　特等二八名、一等一五四名、二等二九六名、三等一、九二四名、四等三八二五名、計六、八五七名（前年三、七六〇名）
△支那語　特等一八名、一等三三名、二等一四一名、三等五六四名、四等八四六名計一、六六二名（前年一、三九九名）
△露西亞語　特等九名、一等九名、二等一三名、三等二〇名、四等三六名、計八七名（前年七五名）
で特に滿人ロシヤ人の受驗者の激增が注目を惹いてゐる、なほ本試驗は豫備試驗者決定の上近く試驗期日を發表される

三枝氏の蒙古作品展

滿日文化協會では曩に行はれた大板賜祭で起上る蒙古の姿を三枝氏が現地に出張カメラ……

今晩の主なる放送

▲七・三〇講演（東京）沖野亦男外▲八・〇〇吹奏樂と軍歌（東京）海軍々樂隊▲八・二〇俚謠通夜「島の俚謠」（新潟）村田文三外▲八・四〇上海思ひ出の夕、ラヂオ聯曲「世紀にひゞく」（東京）岡讓二、外

あす（十五日）

▲臨時大掃除、長通路、寬城子署管內
▲防空訓練、順天區、東光區
▲野球、タイガース對新京俱樂部及滿洲國
▲彩票開彩
▲本紙讀者優待國民裁判劇、西廣場俱樂部

若松中佐死去

【東京國通】陸相秘書官若松七郞中佐は腸カタルで牛込の陸軍醫學校に入院加療中十三日午後六時死去した、享年卅九

中等野球第二日
仁川商業勝つ

甲子園に於ける十四日の中等學校野球大會第一試合天津商業對仁川商業は四回に仁川一點、八回に兩軍二點を入れ三A對二で仁川商業が勝つた

結婚

▲觀光路八〇一山本利雄、大連市櫻花台二〇二植松あい子
▲孟家屯電々會社佐藤憲一羽衣町四ノ二吉武敏子
▲崇智胡一三井上三治、梅ケ枝町一二藤本ミサヲ
▲入船町二ノ三內田石材店松尾善美、福岡市下警固町井上シゲヲ
▲南嶺陸官三四石田武雄、山吹町陸官一四野口千登子

△新京商業對中央商業（前試合に引續き開始）
△決勝戰

スタンプ展
賞品明日渡す

觀光スタンプ展懸賞入選者の賞品引換へは十五日午後二時から驛前觀光協會で行はれる、なほ入選者の中遊覽バス招待者の分は十六日午後一時半驛前出發で擧行せられるにつき同時刻までに參集せられたいと

三中井でこれが作品六十餘點の展覽會を催すこととなつた、尙同じく現地で描いた淺枝次郞氏の洋畫展も同時に行はれることとなつてゐるに收めたが十七日より六日間に亘り……

あす彩票抽籤

あす十五日は經濟部發行第五十三次福民獎券の抽籤日であるが、福の神が今度はどこを訪れるか彩票マニアは今夜一夜の明けるのが待遠しいことであらう

中等學校籃球大會豫選組合

全滿中等學校籃球大會新京豫選は十五日午後三時より西公園競技場に於て開催されるが十三日組合せを左の如く決定した、なほ雨天の場合は敷島高女に於て行ふ
△第一國民高等學校對第二國民高等學校（午後三時）

映畫と演藝

カブキ筒井
劍劇紹介に再渡歐

日本劍劇界の元祖筒井徳二郎氏の渡歐は巴里のレオニドフ氏との間に交渉が進められてゐたが萬事スムースに進捗一行二十餘名は九月一日横濱出帆の靖國丸で渡歐することに決定した、演しものは日本精神を多分に表現した「川中島」「忠臣藏」「助六」「元祿花見踊」其他で約半歳に亘り獨逸、伊太利の防共締盟國を始め歐洲各國を巡演する豫定である

同氏は一九二四年から約二ケ年歐米を巡演し當時アメリカのイザンパシフイツク列車ではカブキメニユーを發行するなど大騒ぎを演じ巴里のテアトルピガーレでは歌舞伎レヴユーと巴里つ子絶讃の的となりポーランドに於ける公演には某老將軍が大和魂に感泣するなどのエピソードもある、モスクワではメイエルホリドが大いに歌舞伎を賞揚、手法を歐洲劇團に取入れるなど素晴らしい人氣を博しツツキカブキの名は今尚は歐米演劇界に膾炙してゐる、同氏は既に六十歳今回の渡歐は恐らく最後となるであらう

外山氏語る 筒井徳二郎氏渡歐の報に接し目下ヤマトホテルに滯在中の美術批評家協會事務長外山卯三郎氏は語る

この話は巴里のレオニドフ氏との間に相當前から進められてゐたが漸く決定の旨本日通知をうけた、同氏は以前二ケ年に亘つて歐米を巡演し到るところ白熱的好評を以つて迎へられカブキツツ井の名は今なほ演劇界の話題に上つてゐる、今回の渡歐については外務省でも大いに力を入れてをり出物は日本精神を最もよく表現したものを持つて行く筈だ、僕も同行する積りであるがこの機會に歐洲藝術方面ものぞいて來たいと思つてゐる

映畫交換提携
滿映と文化振興會間に成立

日本外務省の後援を得て文化ニユース映畫を世界に紹介してゐる文化振興會と滿映の間にかねて交渉中であつた文化ニユース映畫の交換がこの程正式に纏り十月頃より文化振興會で作成される映畫は滿映作品として全滿に配給される

滿系映畫宣傳物品評會
あすから本社で

滿洲映畫協會では滿系映畫常設館の映畫宣傳指導向上の趣旨の下に、弘報宣傳主催、大同報後援で十五日より二日間本社に於て開催する、出品館は全滿々系常設館で、種類は映畫に對する宣傳物品一切個數は一館につき上映々畫に對するもの五點及び自由作品二點で既に全滿各地より奇裝珍趣を凝らした宣傳物が續々集まつてをり、審査委員により各等賞を附し蓋あけの上は映畫關係者以外にもいやしくも滿人華客を對象とする日滿一般商店にもその宣傳廣告政策につき何らかの參考資料を提供するものとして期待される

△杉狂の催眠術△

日活多摩川作品、千葉泰樹がサトウ・ハチロー作、吉田二三夫のシナリオを得て監督に當つた作品で「まごゝろ萬歳」「人は若者」に次ぐまごゝろシリーズ第三作、落ちぶれた中學校の漢學の先生を、曾てこの先生の手にかゝつた教へ兒達が救つてやるといふ人情ユーモア篇、杉狂兒主演の他に松本秀太郎、井上敏正、山本禮三郎、村田知榮子等助演、新京キネマ十八日封切

國民裁判劇
初日好評を博す

川村金次氏統率の國民裁判劇は本社後援にて十三日午後七時から西廣場滿鐵倶樂部で第一日の幕を開けた、演題は劍劇「いなづまお龍」二幕五場裁判劇「原田妙子の犯罪」二幕五場で劍劇は阪妻はだしの鮮やかな立廻りに大向ふを唸らせ問題の裁判劇は原田家の財産を繞つて奸策と醒滲なる殺人事件がくりひろげられ最後の裁判となり有罪か無罪か本物の法廷に等しき裁判を開廷臨時陪審員の意見上申、嚴肅にして峻烈なる檢事の論告被告のため堂々の論陣を張る名辯護人の大熱辯は滿場觀衆の手に汗を握らせ興味のうちに多大の教訓を與へた、十四日は「戀地獄」「女教員の犯罪」が上演される

「知心曲」主題歌

高原富次郎總指揮、尹寶元導演の『知心曲』は既報の如く順調に進捗してゐるが導演者尹寶元作詞、長兆精一編曲になる主題歌『知心曲』が發表された、原曲は有名な「宵待草」を編曲したもので映畫では李鶴が戀人の杜撰の歸りを淋しく待つてゐると言ふ哀傷の場面に歌はれる

猶映畫『知心曲』では季燕芬が、二、三年前上海で發表されヒツトした名曲『千里覓伊人』を歌ふ事になつてゐる

サボテン

病の爲に新京會館を去つた南條英千嬢、健康を恢復した姿を數日前から扇芳會館に現はして懷かしの新京よと謳歌してゐる▼先日も行つたら帝都そばのそばを食べて頭道溝にはこんな美味なそばは無かつたわとのことでした▼次は二ケ月程前に來たマー坊こと高木玲子さん、急に一萬圓、一萬圓と口にしてゐるので何の話かと思つたら彩票のこと▼今まで彩票を知らなかつたとは可愛いところがある、その上一萬圓當つたら結婚の持參金にするといふのだから先づ心掛けの良い方▼もしもしヴエラよ、ヴエラちやんよ、今日も又麻雀打ちに通ひかといふ程RCR麻雀倶樂部を賑はしてゐた扇芳の三人組の中平綠ヴエラちやんと岩井照子君が仲良く内地歸郷旅行に行つたものだから後に殘つた稻垣はな子さん張合が拔けた樣な顏をしてゐる▼御當人のみでなくRCR倶樂部の御常連も張合が無いことでせう

雑音

帝都キネマのナイトショウ「たそがれの維納」は第一夜は約六百人の入り盛況とまではゆかないが手一杯といふところ▼豐劇に松竹の強力二本が揃つてゐるので今週の帝都は本興行ともにこれに喰はれてゐるやうだ▼新キネは十八日から寛壽郎の「髑髏錢」と杉狂兒の「杉狂の催眠術」の二本立に本もの丶杉狂兒が石井美笑子、小町とし子など丶共に實演を添へる、こ丶のこの種實演は最近殆んど失敗した話を聞かない、番組みもよし、長春座の「國民の誓」『樂聖ベートウベン』といふ對抗を見せやう

月曜　己卯　友引　危　張宿　八月十五日　舊七月廿日

東京・本郷・神誠館

●一白の人　人目に立つ程に榮達する日入學開業等皆吉　甲と坤と壬が吉
●二黑の人　慮ること深く秩序正しければ基礎大に定る　丙と丁と艮が吉
●三碧の人　身の健康を保ち無益の空想を去り時を惜め　南と東と甲が吉
●四綠の人　邪魔物を除けて登れば頂上に達せらるべし　丙と丁と壬が吉
●五黄の人　根氣の限りを盡し順を守り序を亂さず進め　丙と丁と西が吉
●六白の人　四方に目を配り大勢を見逃さぬ樣にすべし　北と西と壬が吉
●七赤の人　此まで紛糾し居りし事も有利に解決すべし　北と西と南が吉
●八白の人　口と文書と慎み憂ひの後に殘らぬ樣すべし　丁と艮と北が吉
●九紫の人　注意し居りても僻辛に流れ易し金談殊に凶　東と丙と西が吉

戰時小說　敵前銃後

山岡弘　作
木原芳樹　畫
（禁無斷轉載上演）

（百七）

危機連續（二）

靜子が沂縣城への間道を見つけて、避難者の群から離れてソッと引返さうとした時、傍のカウリヤン畑からとび出した二三人の支那兵は、イキナリ靜子の腕を摑むとズル〳〵とカウリヤン畑の中に引づり込んだ。

『何、何をなさるんです』

靜子が顏色をかへて抗議する。

『お前はどこから來た』

『どこへ行くんだ』

疊みかけて訊くのである。

『妾は、あの、あの、沂縣の方から逃げて出たのです、どこつて、あてもありませんが日本軍が押し寄せて來たので、それで、今、逃げる所でございます』

靜子は、口から出まかせに云つた。

『沂縣から逃げて來た?』

『へイ、いゝえ、あの、沂縣ではございませんが、沂縣の近所からでございます』

『沂縣から逃げて來た者が、何故また沂縣へ引返すんだ』

靜子はギクリとしたが、考へ込んで居て疑はれてはいけないと思つたので

『いゝえ、妾、沂縣へなんか引返しは致しません』

『この道を行けば、また沂縣へ逆戻りするんだ。それが判らない筈はあるまい』

『いゝえ、妾、そんな事は、知らないものですから、この道を行けば、どこかへ早く逃げる事が出來ると思つたのでございます』

『あの道知るべが見えないのか』

支那兵は例の石の道標を指した。

『あら、妾、つい、うつかりして氣がつきませんでした。まア、この道を行けば、また沂縣へ戻るのでございますか……』

靜子は呆れたやうな顏をした。

『怪しい奴だ、とにかく身體檢査をするからじつとしてろ……』

『貴方がたは、いつたい、どこの兵隊さんですか』

靜子は、抱きすくめやうとする相手の手を必死にのがれながら咎めるやうな口調で云つた。

『俺達は保安隊だ』

『どこの保安隊の方ですか』

『そんな事を一々お前に云ふ必要はない』

保安隊員は、靜子をカウリヤン畑の中に運んで、そしてみんなで手取り足取り押へつけて、衣服をはぎにかゝつた。

『アッ、厭です、何を、何をするんです』

靜子は一生懸命に手足をバタ〳〵やつたがどうする事も出來るものではない。

『職權をもつて身體檢査をやるんだ、おとなしくしてろ!……』

あゝ又しても身體檢査、靜子は職權をかさに、例外なくそれを要求する支那兵の心の卑しさが、齒がみする程憎かつた。

けれども、その時に、突然足音が聞えて

『おい〳〵、待て』

と云ふ聲が聞えた。

中年のもつともらしい顏をした保安隊の將校らしい男がどこからともなく近づいて來たのである。

『ハッ、これは、隊長殿』

靜子を押へつけてゐた保安隊員は、手を離してあわてゝ立上つた。

『俺が直接取調る』

『ハッ』

鶴の一聲だつた。

兵士等は、靜子を押し包んで隊長の後に從つた。

隊長は先頭に立つて、爪先登りの山道を、右側に迫つてゐる岩山に向つて登り始めた。ともすれば石が崩れて顛倒しさうになる道を、靜子は兵士等に尻から小づかれながら登つた。

途上の、ちやうど山の中腹と見える所に、古びた朱塗りの寺院が見えてゐた。

新京日日新聞
朝刊
本紙朝夕刊十二頁

臨時政府新たに郵政總局を設置

北支郵政事務を統一

中華民國臨時政府はこのほど新たに郵政機關として郵政總局を設置するに決定、十四日組織法を公布、十五日より實施することゝなつた、臨時政府管下の郵政事務は種々複雜な事情のもとにありこれが統一には多くの難關が伴つてをるので政府當局でも極めて愼重な態度を持し着々機構の整備充實ならびに一元的郵政系統の確立に努め事務の簡捷化をはかりつゝあつたが、最近に至り漢口陷落も目睫の間に迫りこれが强化の必要も增加したので遂に郵政總局を設置するに決定、郵便事務の監督にあたらしめることゝなつたのである、しかしてこの結果北支の郵政は一段と整備されるわけでありその前途は各方面から大なる期待をかけられてゐる

設立趣旨暫行規則

【北京十四日發國通】中國臨時政府では郵政總局設立に關し十四日郵政總局設立の趣旨ならびに組織暫行條令、郵政總局分科暫行規則を公布、十五日よりこれを實施することになつた、設立趣旨ならびに暫行規則全文左の如し、なほ總局長には行政院秘書濮傳顯氏が任命される豫定である

▲中國臨時政府發表　客年七月戰變冀北の地に勃發以來戰區の擴大に郵政事業においても勢ひ郵局の閉鎖、取扱業務の中止或は制限を行はざるを得なかつた、勿論治安の恢復に伴ひ日本軍當局の理解ある援助の下に漸次復興を見たとはいへ今日に至るもなほ統制充分ならず、圓滑なる業務の遂行は期待し得ざる狀態にあり、しかるに今翻つて北支の現況を見るに治安の恢復と政府各般の施設と相俟つて經濟界は逐次進展の途上にあり、また各種產業も漸く復興せんとしつゝあり、しかも郵政業務は經濟活動、產業取引上に缺くべからざる必要手段なるが故に現在の推移に放任し得ざるものがある、此際速かに北支郵政の統制整理をはかり產業、經濟の振興を助成すると共に、一面民生の安定、文化の發達を期する事は現下喫緊の急務である、この實情に鑑み今回北京に郵政總局を設置し北支郵政を統制整理し圓滿なる業務の運行を期せしむる事とした次第である

▲郵政總局組織暫行條例

第一條　郵政總局は行政部總長の管理に屬し左の事項を管掌す（一）郵便及び小包郵便事業ならびにその附帶事業に關する事項（二）郵政爲替事業に關する事項（三）郵政儲金及び郵政振替事業に關する事項（四）郵政保險事業に關する事項（五）日本國、滿洲國または他部局の委託に關する事項

第二條　郵政總局に左の局員を置く
局長一名、副局長一名、秘書若干名、副郵務長、郵務員、郵務佐五十名以內

第三條　局長は行政部總長の指揮監督をうけ局務を掌理す

第四條　副局長は局長を助け局務を處理し局長事故ある時はその職務を代理す

第五條　秘書は局長の命をうけ機密事務を處理す

第六條　副郵務長、郵務員及び郵務佐は上司の命をうけ事務を處理す

第七條　郵政總局の分科は別にこれを定む

附則

本法は民國廿七年八月十五日よりこれを施行す

▲郵政總局分科暫行規則

第一條　郵政總局に左の四科一室を置く
總務科、業務科、儲滙科、計覈科、視察室

漢口飛行場爆擊

場外の白點は隱蔽せる敵機を爆破せるもの

漢口日本租界を回收

不法な支那側

【上海十四日發國通】漢口來電によれば漢口日本租界は昨年八月七日全居留民引揚後漢口市政府に管理を依賴、日本人財產全部を支那側の責任において保管する旨日支兩當局間に約束されてゐたが支那側では八・一三記念日を期して日本租界を回收、漢口市第四特別區と改め漢口市政府直轄とし直ちにこれを實行に移した、右に伴ひ道路の名稱も變更し大和街を八・一三街、西小路を七・七街、中街を一二八街、東小路を九・一八街、山崎街を蘆溝橋街等とし國辱記念に關する名稱を附した、なほ右の日本租界は明治卅一年七月十六日永代借用に關する條約が締結され明治四十年二月九日右租界擴張に關する取極めが行はれたもので今回の支那側の一方的回收は右條約を全く蹂躪したものである

中華商會聯合會 聲明書發表

【京城國通】旅鮮中華商會では十三日上海事件一周年を迎へ左の聲明書を發し蔣政權に反省を求むると共に全鮮各團體と連繫を保ち反蔣の烽火を擧げ〃打倒蔣政權〃に邁進することになつた

▲聲明書　蔣政權、抗日の矛を執つて起ち已に一年有餘、其行方や何處、曩に春秋久しき都南京を去り今や武漢の三鎭危殆に瀕す、全面的抗戰の實力天地に求むるに由なく四億民衆の安泰亦何處にか求めん、屍山血河苦慘を嘗て得たるものは只廢墟有之のみ、打倒すべし民衆蔣政權、收むべし抗日の劍、就けよ東洋久遠の和平に　敢て告して祖國官民に訴へんとす

中華民國廿七年八月十三日　旅鮮中華商會聯合會

中南支猛爆續行

軍用船、鐵橋粉碎

【上海十四日發國通】十四日正午艦隊報道部發表＝十三日海軍航空隊は中支方面において既報要所その他の攻擊をなしたるほか左記を爆擊せり

（一）黃州附近にて約百噸軍用汽船を直擊彈により火藥類の誘爆を起し物凄き火焰に包まれ瞬時にして沈沒せり（二）春上流において軍事行動中の戎克爆擊その數隻を擊沈せり

また南支方面において海軍航空隊は十三日主として粤漢、廣九鐵道を攻擊せり、粤漢鐵道銀盞坳附近はわが爆擊により破壞されたる鐵橋の修理中なるを爆擊これを爆破せり、また驛構內建物を爆擊、線路數ヶ所を切斷せり、軍田驛附近において修理車を爆破せり　廣九鐵道常平附近において鐵橋、線路を爆破せり

國共乖離愈よ濃化

新華日報に發禁處分

【上海十四日發國通】漢口からの來電によれば、十三日同地の有力なる共產黨機關紙新華日報は突如發行禁止處分に附され市中にとりどりの噂をまいたと傳へてゐる、新華日報社側では單なる輪轉機の故障に基く休刊であると稱してゐるに反し、國民政府當局側では同紙が新聞紙取締法による檢閱規定に違反して未檢閱記事を發表する事數回に亘つたので一日の發行停止を命じたものであると主張してゐる、かく兩者の言譯に喰違ひがある事實は昨今國民政府側が漢口放棄やむなしとするに對し共產黨側は漢口死守を力說し漢口防備にからんで國共乖離の兆候がますます濃厚となつてきたことを裏書するもので、命旦夕に迫り斷末魔の足騷きをつゞけつゝある漢口を中心に國共合作の諸工作もことごとに喰違ひを生じ終焉的現象を示してゐる

北支事務局機構改正案決定

北支交通會社への移行を前提とする滿鐵北支事務局の機構改正案はこのほどその大綱を決定し近く關係當局の認可を得遲くも本月末までには正式發表の段取りであるが右改正の重點とするところは

一、從來の班係の二段制を廢止し局長、次長制の下に新たに部課係の三段制を採用し八部（外に局一、事務所一）を置く

一、人事行政の重要性に鑑み新たに人事部を置き滿支間人事の交流、刷新の徹底を期す

一、企畫業務の確立を期するため外局として企畫局を置き重要計畫の立案及び實行機關たらしめる

一、港灣その他水運業務の複雜性に鑑み新たに水運部を置き港灣施設の擴充、河川交通の發展に努力する

一、華北汽車公司を解消して新たに自動車事務所を設け運輸部の直屬機關とする

右改正の綜の諸點であつて、結果北支事務局の組織は根本的に整備擴充され、北支交通會社への移行體制はこゝに完全に確立されるわけである、北支事務局新機構內容左の如し

局長、次長

企畫局

總務部（庶務課、文書課、弘報課）人事部（人事課、調査課、厚生課、保健課）經理部（主計課、會計課、審査課、購買課、倉庫課）運輸部（自動車事務所、旅客課、貨物課、運轉課、車輛課）水運部（水運課、築港課）工作部（工作課、工廠課）工務部（保線課、改良課、建築課、電氣課、建設課）警務部（警備課、保安課、愛路課）監察、參與、輸送委員會

なほ右に伴ふ人事の異動については目下鋭意銓衡中で宇佐美顧問の歸任により急速に具體化し、右機構の正式發表と同時に發令される筈である

高射砲、高射機銃等を密かに敗退基地に移動

〃漢口死守〃民衆を欺瞞

【南京十四日發國通】連日に亘る海軍航空隊の漢口攻擊につゞき無敵皇軍の全面的進擊に怯ゆる漢口政府は最近數十回に亘つて一般大衆や駐屯部隊には極秘裡に漢口に集中してあつた莫大なる精巧な移動高射砲及び高射機銃を防禦砲臺より運び出し、南昌より移動し來た高射砲、機銃とゝもに既に敗退基地に確定した昆明、重慶及び粤漢線沿線岳州、長沙、衡州方面に早くも運び出させたことが判明した、飽まで漢口死守を嚴命する蔣介石及び中央軍は南京におけると同樣に彼等自身を護るためには再び無辜の民衆と强制動員部隊を戰線の危地に放置するが如き手段を選ばぬ卑劣極まる行爲を執りつゝあるのである

鐵道經營の重點人的要素の整備

北支交通會社の成立案得て

宇佐美顧問車中談

北支交通會社社長に內定を見た滿鐵顧問宇佐美寬爾氏は、同會社設立に關し中央要路と折衝のため東上中のところ、このほどその大綱に關し一應の成案を見たので、十四日午前七時四十分奉天着のぞみで一先づ歸任したが、車中記者と左の如き一問一答をなした

問　北支交通會社の組織內容如何

答　資本金三億圓程度の支那法人會社とし、資本金割當は北支開發會社より一億五千萬圓、殘金は臨時政府と滿鐵が出資することになつてゐるが、滿鐵からの出資額は一億二千萬圓程度になると思ふ

問　新交通會社の事業範圍は如何なるものか

答　鐵道、港灣、自動車路線等北支における交通部門一切を同會社において經營することゝなつてゐる、港灣は取敢へず大沽、大淸河、連雲港三港を經營するが、將來必要があれば靑島港も交通會社の經營下におくことゝならう

問　大同炭礦は交通會社の經營に屬さないのか

答　これについては中央において研究中で目下のところ何んとも申上げられない

問　新會社の設立時期如何

答　未だ確定してゐないが十一月頃となるだらう

問　交通會社設立後に於ても滿鐵の實質的北支進出といふことは認められ得るや

答　北支交通部門の經營に際し滿鐵が中心となつてやつて行く根本方針が決定されてゐるのであるから、新會社設立後といへども何らこの方針に變ることはない

問　新會社には鐵道省方面よりも相當數の人員が注入されると聞いてゐるが如何

答　それについては鐵道省との間にすでに話合が出來てゐるが敵の點は申上げかねる、省から人を入れるとしても新會社に直接入れるのではなく一旦滿鐵北支事務局に採用し陣容を整へてから新會社に移行する方法をとることゝなつてゐる

問　北支事務局の機構改革は何日頃行ふか

答　すでに大綱が決定してゐるから今月末には發表のはこびとならう、北支事務局は新會社設立の曉その中樞機關となすべきものであるからこれが機構の改革にあたつては會社的組織を備へるものに改め、新會社設立と同時にそのまゝ移行出來るやうにする考へである

問　滿鐵より新會社に移行される社員の身分はどうなるか

答　それは目下研究問題に屬してゐるので詳しくお答へ出來ない

問　經濟的方面から見た北支鐵道の將來如何

答　目下のところその經濟的價値を云々することは尚早と思ふが、新會社が設立されればそれ經營方針も順次軌道に乘つてくるのは當然であらう、治安の確立、沿線背後地の產業開發と相俟つて北支鐵道の將來は實に洋々たるものがある

問　將來一貫的經營におかれ得るや否や

答　北支鐵道と中支鐵道とが別に具體的に決つた譯ではないが、理想としては一貫的經營下におくべきだと思ふ

問　北支鐵道經營に對する抱負如何

答　鐵道經營にあたつてもつとも重要なことは人的要素の確立整備といふことにある、就中從業員の大部分を占める支那人從業員の素質向上については最大の努力を拂ふべきだと考へる、滿洲國鐵道のかくも整備發展したかげには滿人從業員不斷の努力がかくされてゐる、北支鐵道においても支那人從業員の勤さを度外視しては到底圓滿なる業務の遂行は期し難い、要するに鐵道に從事するものは日本人といはず支那人といはずともに一致協力し北支交通發展に獻身的努力を拂ふことがもつとも大切なことゝ思ふ　また北支の鐵道經營にあたつてはあくまで滿鐵と協力し人事の交流は勿論各般に亘り密なる連絡を保ちもつて大陸鐵道一貫經營の理想實現に向つて邁進すべきであると考へる

なほ同顧問は奉天において大村副總裁ほか鐵道總局幹部と會見、北支事務局機構改革およびこれに伴ふ人事の移動その他につき重要懇談をとげ十四日夕奉天發大連に向つた

宇佐美顧問

偶語

毎月何回となく白布に蔽はれ戰友に抱かれて國都に着く御遺骨を迎へるたびに言ひ表しやうのない哀悼と感謝と敬虔の念で頭が一杯になり自然と熱淚が滲み出る▼この御遺骨は治安の肅淸に奉獻の守りに滿洲國建設のため身命を賭した勇士の變つた姿なのである▼私は此英靈を迎へるたびに想ふことは滿洲建國の人柱となつた勇士を何故滿洲國の人々が擧つて出迎へないのか何故擧つて御通夜せぬかといふことである▼滿洲國生れて既に六年今日の王道樂土は何人の手に築かれたかを思へば御遺骨の送迎御通夜は日常生活の最も大切な務であらねばならぬ筈だ▼未だその念なしとすればその責は何人に歸すべきか言はずと知れた今日の政治の缺陷でもあり協和運動の不徹底に他ならぬ▼滿洲國協和會は日本內地人に對するチンドン屋をやめて滿洲國人に對し眞の協和精神の注入に全力を傾注すべきである

人事往來

▲田邊敏男氏（總局）十四日來京ヤマトホテル
▲M・サヘイ氏（新聞記者）同
▲田中丑雄氏（東大教授）滿蒙ホテル
▲喜多重俊氏（阪大教授）同
▲田代哲次氏（太陽ゴム）同
▲三谷淸氏（吉林省次長）同
▲小林保太郎氏（明專教授）國都ホテル
▲井上邦雄氏（中村商會）同
▲田中茂太郎氏（鑛業）同
▲日向榮作氏（愛工舍）同
▲金子良穗氏（同和自動車）同
▲瀨戶山三氏（鑛業）同
▲岡本忠夫氏（朝鮮石油）同
▲高橋逸夫氏（京大教授）大都ホテル
▲立石重助氏（會社員）同

豫備兵召集說にチ國對策協議

【プラーグ十三日發國通】チエコ官邊はドイツが大演習のため豫備兵召集其他各種の非常措置を講じてゐるとの報に多大の關心を示してゐるがチエコ政府は來る十六日を期してプラーグに最高國防會議を召集對策を協議することゝなつたといはれる

張鼓峰事件で中外に大和魂の眞髓發揮

肉彈で戰車に突擊 廿數臺を擱坐せしむ 壯烈石井上等兵華と散る

【〇〇十三日國通坂下特派員發】張鼓峰事件戰闘のうち最も激烈を極めた對戰車戰闘の一つ、去る七日午後三時半頃張鼓峰東側の五十二高地を守る佐藤幸部隊の一部に對し、ソ聯軍は歩兵二ケ大隊、戰車約五十臺をもつて猛然逆襲して來つた、この際機關銃分隊長として部下を指揮してゐた石井敏晴上等兵(福島縣出身)は射手の倒れた後を引受け自ら機關銃を操作先頭に進み來つた敵戰車に對し確實な射彈を送つてこれをわが塹壕前十餘米の地點で行動不能に陥らしめた、それと見るや上等兵はやにわにあつと驚く戰友の[illegible]を後に壕を飛び出し右戰車に突進飛び乘り挺身機銃を破壞した後なほも天盖をこぢあけ拳銃を車内に亂射して一名を倒したが、内部から射つた敵の拳銃彈のため遂に壯烈なる戰死を遂げた、この鬼神をも泣かしむる石井上等兵の奮戰を見て怒髪天をついたわが將兵は各自肉彈で戰車に對抗し手榴彈を携帶、地雷を武器として阿修羅の如く荒れまはり見事敵を擊退敵の戰車二十數臺を擱坐せしめた、なほこの戰で關根豐上等兵(福島縣)星野市右衛門上等兵(新潟縣)藤田傳市上等兵(長野縣)の三勇士は敵戰車と共に壯烈なる爆死を遂げた

敵重砲彈炸裂の中に 敵兵の遺骸を護る 國境第一線部隊の武士道精神

【滿ソ國境にて十三日發國通】記者は洪儀驛より三日間にわたるソ聯の砲火に洗はれた張鼓峰眞下の甑山を視察し、且つ敵にはあれど國境線の華と散つて行つたソ聯卅七の遺骸に敬意を表すべく去る四日午後曇天のむし暑い中をやゝ衰へたりとは云へ未だ殷々として轟き眼前に炸裂する重砲彈を冒してトラック上の人となり、南甑山の現地に到着した、眼前の張鼓峰は事件前までは綠なす夏草に蔽はれて青々としてゐたものが事件勃發以來引つきりなしに繼續するソ聯機の空爆に八合目あたりから上は赭土が露出して戰闘猛烈なりしことゝしかもその猛爆の中を張鼓峰から一歩も退かず守り通した第一線皇軍勇士の武勳を物語つてゐるこの時雨雲の中から低いプロペラの響が聞えたかと思ふと煙秋方面から張鼓峰の眞上にソ聯機二機小癪な姿を現はす充分引つけておいた友軍の高射砲陣地から一齊に對空射擊が開始される、ソ聯機は昨日までわが方が滿を持して放たなかつた高射砲が突如正確な射擊威力を發揮し始めたので慌てゝ雲間に遁走したのは滑稽であつた、軈て記者はソ聯兵卅七名の遺骸がわが皇軍將士の手により安置されてある朝鮮民家に到着した、記者はその情景を見るや電擊の如く一種名狀し難い敬虔の念に打たれた、見よ卅七名のソ聯兵遺骸は立派な白木の棺にキチンと安置され着劍した衛兵が嚴然と護つてゐる、一日少くとも一百發多きは四百發に達する重砲彈が耳を聾さんばかりの轟音であたり構はず炸裂してゐる中で何たる敵味方を

超越

した皇軍將士の武士道精神だらう、記者も亂れ咲く名もなき野花を二枚三枚折つて靈前に捧げ、謹んで

亡きソ聯兵士卅七士よ瞑目せよ、こうして東洋平和の夜明けが來るのだ

と告げて再び殷々たる砲聲の中を洪儀驛に立ち戻つたのであつた

世界戰史に比類なき 張鼓峰奪取戰 死守戰を語る二將校

【〇〇十三日國通坂下特派員發】今次事件の中心は何といつても張鼓峰奪取戰にあるが執拗な敵の猛擊逆襲を退けた下村肇少佐及び七月卅一日未明山頂を奪回して以來雲霞の如き大軍を引受け孤立無援に陥りながらよく山頂を死守してソ軍に一指も染めしめなかつた伊藤皓大尉は十二日午後次の如く戰闘經過を語つた

卅一日未明張鼓峰を奪回してから四日間といふものは堅パンと泥水だけで過し、日中は朝から敵の砲擊と空爆を受けるので全員殆んど寢たことはなかつた、ソ軍は張鼓峰だけは赤軍の面目にかけても奪取しなければならぬと主力をこゝに集中して來たので極く少數のわが軍は相當苦戰であつたが、部下は一向驚かなかつた、寧ろ演習のやうに冷靜で迫つて來る赤兵を斃し、いよ〳〵白兵戰となると壕を飛出して突つ込むので、これにはソ軍も苦手のやうであつた、ソ軍は最初空爆砲擊で猛烈に此方を射つてから赤旗を押し立てゝ迫つて來るので、頃合をはかつて「よし」と思つた時飛出せば大抵擊退することが出來たが、中には勇敢な赤兵もあつたが、これも白兵戰になると日本兵には全くかなはない實際敵の損害の大部分は接近したときに投げる手榴彈と白兵戰の際の銃劍によつてゐる、しかし此方も死傷者が相當出て軍曹が〇隊長に代つて指揮をとつたこともあつた、兵の沈着、勇敢さには平素から訓練してゐた自分達が驚いた程だ、敵が全力を擧げてやつて來たのは六、七の兩日未明の逆襲で、この際には兵は岩石を楯に應戰し白兵戰の連續であつた、擊退した跡を見ると敵味方の死體が累々と折り重つて斃れ、それに砲彈、爆彈が炸裂するので死體が燃え出すやうなこともあつた、今戰闘の跡をふり返つてみるとわれながらよく頑張つたと思つてゐる、今回の事件ではソ聯軍は機械力に全力を集中し、歩兵の力を輕く扱つたやうであるが、日本兵の精神力の前には效を奏さなかつた、結局平素の訓練が戰闘の場合はつきり物を云ひ大和魂の眞髓を發揮することが判つた、味方が少くなればなる程旺盛な戰闘力が出るのが日本兵だ

活躍する韓團長　上海にて(上)梁行政院長訪問(下)畑最高指揮官訪問

五ケ年計畫を現地に視る (七)

森崎實

かくの如く工人の取締或ひは設備、その募集等において永年の經驗を持つ撫順においても他と同樣工人の足どめ、補給の見透しをつけ得ざるに在るのだ、今後の工人補給工作は滿洲炭礦に一大革命を齎らさんとしてゐると當事者が述懷してゐたのも、あながち技術者に特有の潔癖性とのみ云ひ切れぬだらう

更に技術者にして[illegible]資材の入手にしてもその見透し難には變るところがない、露天掘の剝岩が採炭のスピードに比して後に從つてそれだけ採炭に無理をしてゐるといふことを聞いたが、端的にこの間の事情を物語るものではあるまいか、大部分の器材の入手はなし得てもその一部分をなす器材を入手すべくに非ざれば機械の能力は期待されぬことは常識である、こ[illegible]施設が隨所に現はれて來てゐるといふことだ、一般に設備機構が大きくなればなる程、綜合の力がいよ〳〵高く評價され從つて全體の一部門をなす一單位が占むる比重は大きくなる譯だが、更にこの一單位の一部分をなす所要資材を得るに非ざれば全體部門の完全なる綜合力の發揮は期待されぬことゝなることを思ふとき、現在の設備機構に更に一段と增強のための設備をほどこさねばならぬ撫順の惱みは又深刻なものがあることを推知し得る

しかしながら撫順は他に比して遙かに優秀なる既存設備を有してゐる、而も五ケ年計畫によるその出炭豫定量は、現在の稼行能力を遙かに超過する數字は見せてはゐない、既存設備の貧弱な滿炭系諸炭礦が負ふその負擔に比較した場合物資、技術、勞働等各方面において數段のゆとりが認められないものだらうか、技術者が常に最善の設備を願ひ條件の完備を希望することは世の常である、併しながらわれ〳〵は戰時において體驗する事例を深く考慮せねばならぬ

機關銃と小銃とが戰場において何れがより戰闘能力を有して效果を期待し得るかは、勿論機關銃に幾層倍の期待を寄せねばならぬことは明かであるが、然しわれ〳〵は機關銃を持つた敵兵に對して小銃を持つたわが兵が勝利を占めた事例を現實に示されてゐるのだ餘りにも極端な引例かも知れぬが、たゞ考慮したいことは非常時的體制の整備でありその覺悟であるのだ、萬端の條件の完備が望ましいのは當然だが、平時において見る整はざる條件で、非常時が異常の成績を擧げてゐることを再認識したいといふことだ

常時において豫想もしなかつたことが、非常時においてよく敢行された幾多の事例を國民は知つてゐる

他と同樣乏しく增產資材に惱む撫順にも、他と同樣にこの非常時對處を強く希求してやまぬ

石炭、石油、液化等五ケ年計畫に於て撫順に期待されるところは極めて大きい、撫順が持つ人的要素實にそのチームワークは流石の三十幾年の結晶を思はせる、今やこの結晶の力が飛躍的に發動することを期待されてゐることを深く感ずるのである、繼承以來の出炭量は滿洲事變後の二ケ年を除けばたゞ向上の途をたどつてゐる、資材その他關係に於て今日の如く痛切な惱みはなかつたかも知れぬ、しかし又今日の如くその持つ潜在力が、綜合力が、強く要望されたことも少なかつたらう、こゝに今日撫順の持つゆとりを他に比較して見出されはすまいか、窮屈な資材の手當ての中にありながらも撫順への期待が大きいと云ふのもこゝに求められるのではあるまいか

日本の公正なる態度を ドイツ通信社激賞

【ベルリン十二日發國通】ドイツの半官的外交通信は十二日「日ソ紛爭事件」と題し今回の紛爭に際し日本のとつた公正な態度を賞揚しこれに對するドイツの支持を表明して左の如く述べた

今回の事件を平和裡に解決せんとする日本の努力にも拘らずソ聯が軍隊を國境に集結したのはソ聯が挑戰的態度により事態を紛糾せしめんとする肚であつたことを明瞭に示すもので、またモスクワの所謂ソ支條約なるものが何ら對外的に法的根據を有するものでないことも明白となつた、幸ひ事態の安定を見るに至つたことは日本の努力によるものでソ聯の平和的意向のためでは斷じてない、寧ろソ聯の内政上の理由とソ聯の不法なることが外國に明瞭となつたゝめである、但し日ソ兩國が和議したといつてもまだ危險が全く解消したものではなく世界革命のためには如何なる手段をも選ばぬ無軌道なソ聯の政策ならびにそれと不可分の關係にあるコミンテルンの政策に對し世界各國は常に監視を怠つてはならぬ、ドイツは日本の誠實な友人として日本がその權利を確保し且つ平和を維持せんとする努力に對し常に同情的立場をとつてきた、ドイツが日本に對し常に兩國の友好關係に鑑み深甚な同情をもつて事態の發展を注視しその結果につき無關心であり得ないのは明白で、ドイツの同情があくまで日本側にあることは去る八日のリッベントロップ外相が東郷大使と會見の際特に強調したところである

目のあたり見る 日本軍の強さ 獨逸アングリフ紙記者手記

【〇〇十三日發國通】獨逸アングリフ特派員イウール・リスナー氏は張鼓峰一帶における日ソ軍の紛爭を見るべくソ聯軍の空爆の危險に身を曝しつゝ事件現地に乘込み戰線を跋渉してゐるが、左の如き興味ある「張鼓峰事件に關する印象記」をものし軍紀嚴正な日本軍を絕讚してゐる

□

張鼓峰は暗雲低迷し綠の丘に濃霧がたちこめてゐる、ソ聯側の砲兵陣地から間斷なく射ちだす砲聲のみが濃霧の彼方から聞へて來るのだが濃霧に遮られて前方を觀取する事が出來ない、滿鮮國境はさながら灼熱地獄を思はせる暑さである、張鼓峰は滿、蘇、鮮の三國々境において最も興味ある地點であるのだがこの國境の峰は滿洲國領側に位しソ聯領と朝鮮側領土との中間にあつてこの山の南側を圖們江がゆるやかに流れ、北方はソ聯との陸地國境となつて連り今次の日ソ兩軍鼓爭の發端地點なのである、正確な國境線は圓形狀となつて張鼓峰の北方側を巡つてゐる、余は張鼓峰に於てソ聯軍の不法爆擊を眼の邊りに眺めたのだが、此處が朝鮮の福翠地區である圖們と羅津鐵橋に近接してゐることを知つて驚愕したのである、北鮮線の洪儀驛プラットホームから張鼓峰は呼べば應へる地點にあつて手がとゞくのではないかと言ふやうに鮮内と近接してゐるのである、北鮮線と張鼓峰との間には何等遮蔽物がなく綠の牧場と滿鮮國境を靜かに流れる圖們江のみがあるだけだ、七月十一日ソ聯兵十數名は張鼓峰の山頂に現れ望遠鏡で地形偵察をやつてゐたが陣地構築をはじめてしまつた

□

世界の有識者はソ聯軍がソ聯國内に大きな惱める問題を有してゐるにも拘らず、何故に國境に於てこうした不法事件を繰返さねばならないか又起すのであらうかと言ふことに疑問を持つたことであらう、余は日ソ兩國兵の紛爭地點である張鼓峰一帶の現地を實際に見て、ソ聯軍が滿洲國領土を不法占據したならばこの地一帶の百姓達は、張鼓峰が明に滿洲國領土である事を首肯するであらうと思つた、日本軍や百姓達から種々の話を聞き又余自から現地を見てソ聯軍が張鼓峰を不法占據してゐることを知つたのである、日本軍の防衛陣地は朝鮮領内にも構築されてゐたが掘上げた砂が太陽の光を受けて黄色く映へ綠の牧場の色と調和して何とも言へぬ美しい景色であつた

□

張鼓峰事件のつぎに來るものについては何人も想像することは困難であるが、現在の張鼓峰一帶の國境ではソ聯軍の攻擊に對して日本軍の反擊が繰返されてゐるのである、日本軍は水洗峰を左翼としてソ聯軍の逆襲に反擊を加へつゝ國境線を確保し、日夜連續的に行はれるソ聯軍の不法空爆にも隱忍自軍事件の不擴大の方針を堅持してゐたのである、余は田中少佐と共に洪儀驛の裏山からソ聯空軍の爆擊の跡を見たが、洪儀の停車場は微塵に爆彈のため破壞されてしまつて、驛附近の彼方此方に十五サンチ砲彈の命中した跡を發見したが大地も裂けよとばかりに大音響と共に爆發したのだらう、ソ聯は空陸相呼應して夜襲につぐ夜襲を以て張鼓峰の奪還を企圖し多數の戰車隊を督戰して來たのだが遂に張鼓峰は日本軍から奪還するを得なかつたのである、日本軍はたゞモスクワ並に東京の外交交渉の結果を待ち事件の不擴大主義を固守し嚴正な軍紀を保ちつゝ隱忍自重して來たのであるが、日本軍は何時にても容易に張鼓峰を確保することが出來る萬端の準備は完成せられてゐたのである、日ソ兩軍の戰闘は相當に物凄く多數の死傷者を出すに至つたのであるが、ソ聯側は夜間を利用して死骸の收容を行つた、余は甑山渡船場の掛小屋に三十二個のソ聯軍の死骸が積重ねられすでに腐敗しかゝつてゐるのを見た

□

日本軍は不法にも鮮内を猛爆したソ聯空軍を全滅すべく健闘して七機のソ聯空爆機を擊墜した、それ以來ソ聯空軍は日本軍の地上射擊におぢけづいて三千米から四千米の高度をとつて襲來するやうになつた、又ソ聯の一爆擊機は歩兵部隊の小銃射擊により見事に擊墜されたが、日本軍は沈着と豪膽よくソ聯軍の空爆と砲擊に對して反擊の苦戰を凌けて來たのだ、ソ聯軍は空爆部隊を以て連日鮮内を爆擊したのだが、T・B型(四モーター付)及びS・B型(二エーター付)で戰闘機は常に1十五型をも使用してゐた、或日ソ聯空爆隊は二時間餘に亘つて張鼓峰を猛擊した、プロペラの轟音鮮滿國境を壓する爆彈の炸裂する爆音は耳をつんざくやうであつたが日本軍の受けた損傷は案外尠かつた、余はソ聯空軍の爆擊の跡を見たが大部分は目標が外れ、たゞ二發だけ圖們、羅津間の鐵道線路を破壞してゐた、ソ聯機の空爆は何等恐るゝに足らないが、そして目標を百米或は三百米はづれたにしろ集結編隊の空襲には日本軍も相當惱まされたであらう

□

一番現地で危險を感じたのはソ聯戰闘機の地上掃射であつたが、田中少佐はこの對地射擊によつてガラス窓をつきぬけた彈を見せて呉れた、日本の空軍はかうしたソ聯軍の傍若無人の振舞に對しても隱忍自重して一機も飛ばず追擊もしなかつたのである、然し乍ら日本の空軍が一度立ち上つたならばソ聯空軍はこんな虚勢は張れまい、日本軍の爆擊戰闘機は何時でも立ち上る準備を整へ下令のあるのを待つてゐるのだ、ソ聯軍は鮮内深く爆擊する意思なく、要するにソ聯側は張鼓峰事件のみで片附けようとしてゐることが窺はれるが、日本軍はこれ以上ソ聯軍が朝鮮領内を不法爆擊することを默視しないと思ふ結局余の見るところでは日本軍はソ聯との一戰には用意萬端を整備してゐたことゝ、日本軍が沈着勇猛にソ聯軍を反擊したことが一番印像に深いものがあつた、これは生涯余の忘れ得ない想出となるであらう

□

日本軍の第一線を訪れて砲擊の跡を見た、一日本兵が來て叮嚀に挨拶して「近寄らないで呉れ」と微笑を浮べて「二分前にソ聯の砲彈が落下したばかりです」と言つて靜かに立去つて行つた、張鼓峰事件は無統制なソ聯軍と、訓練の行屆いた統制ある指揮の下にある日本軍との戰であつた、最も力強い恐るべきものは日本軍の攻擊の底力であつた、日本軍はこんな恐るべき力を有しながらソ聯軍に對して攻擊的態勢をとらず反擊の程度にとゞめて來たのだが、日本軍が一度ソ聯軍に攻擊を開始することになれば、ソ聯には大きな燎禍となるであらう

ポーランド各紙の論調

【ワルソー十二日發國通】十二日のポーランド各紙は引續き日ソ停戰協定につき論評を加へてゐるが、ソ聯が日本の提議を承認したことはソ聯の敗北を意味するものと見てゐる、又この際日本が思ひがけぬ強硬態度を執つたことにも驚いてゐるが、豫期されたことゝは云へソ聯の餘りの臆さに意外の感を深めてゐる、主要紙の論調左の通り

△カゼッタ・ポルスカ紙　第三者の立場より見て日本側の軍事上、外交上の措置は最も巧妙を極めた、重光大使の抗議が功を奏さないと見るや日本軍は張鼓峰を奪回しそれ以後は嚴重に防禦的な態勢をとり再び外交交渉に出て遂に今回の停戰協定締結に成功した、これによつてソ聯が支那ばかりでなくチェコ、スペインに對して示さんとした軍事上の示威運動は畫餅に歸し全世界に對し今回の事件の侵略者は斷然ソ聯側だといふ印象を植ゑつける結果となつた

△エキスプレス・ポラーニー紙　今回の日ソ事件は總ての點において日本の勝利に歸した、そも〳〵今回の事件はソ聯が惹起したものであるが、その目的は

一、歐洲における失敗を極東において補はんとしたこと

一、粛清後の赤軍威力に變化なきを示さんとしたこと

一、中支戰線の日本軍を牽制せんとしたこと

等にあるが、それ等は何れも失敗に歸した、彼等は多數の戰車、飛行機を動員しながらこれを使用し得ず、日本軍に容易に追拂はれたばかりでなく多數の兵士の脫走を見るといふやうな有樣だつた、一方日本軍はソ聯の術策に乘ぜられず中支においては豫定通りの行動を續けてゐる、斯の如き狀態においてはソ聯が日本に屈伏せざるを得なかつたのは當然の結果だ

モニター紙社說

【ニューヨーク十二日發國通】クリスチャン・サイエンス・モニター紙は十二日の紙上に「誰の國境か」と題する社說を掲載して今回の日ソ國境紛爭に關して左の如く述べた

日ソ國境紛爭の解決は地圖製作の上にもまた世界平和の上にも決定的な貢獻をなすものだが、問題の地點が餘りよく知られてゐない土地であるところから見ても今度の事件の裏には國境劃定以外に何か他の動機があるやうだ、停戰協定が發表される前にソヴイエト政府は問題の國境はすでに一八八六年の琿春界約によつて決定してゐると稱してゐたがこの條約はマックマレイ及びハーツレットの二大條約集にも掲載されてゐない、しかし十八世紀から世界大戰にかけては秘密條約が多かつたからこれらの條約集に掲載されてゐないといふ理由のみでソ聯の主張が間違つてゐるとはいへないであらうが當の支那もかゝる條約は知らぬといつてゐる

平田檢察廳次長 東京發赴任

【東京國通】大審院檢事から滿洲國檢察廳次長に轉出した平田勳氏は十三日午後東京出發赴任の途についたが、驛頭には鹽野法相以下司法大官にまじつて同檢事が日頃から指導してゐた左翼運動の轉向者の一群が心から別れを惜んでゐた光景が人眼を惹いた、平田檢事は赴任直前の繁忙な身にも拘らずこれ等轉向者の就職には特に心を注ぎ一々就職先に出掛けては斡旋の勞を果すといふ熱心さに轉向者も心から感激してゐるが、防共陣軸の重要な一環滿洲國における同檢事の活躍を一同期待してゐる

電氣協會移轉

社團法人滿洲電氣協會は今回康德會館第一二七號室へ移轉した

國防皇軍慰恤献金品(本社取扱)

一金二萬二千七百四十六圓五十三錢五厘(關東軍司令部)
一慰問袋千三百三十六個(同)
一金七十圓軍用家畜慰問金(同)
一金三百圓也(國防館基金へ)
一金五千一百三圓三十四錢(在滿海軍部へ)
累計二万八千二百十九圓八十七錢五厘
……八月十三日迄の分……

全滿水上の覇權　奉天チーム獲得

各地代表力泳のあと目覺し

きのふ第一回大會戰績

大滿洲帝國水泳協會主催の第一回全滿水上競技選手權大會は十四日午後一時卅分より新京白菊町プールで開催せられた、氣溫廿四度、水溫廿二度些か水溫低き恨みはあつたが快晴の無風狀態、先づ上々のコンデーション、觀衆は續々とつめかけ兩側のスタンドを埋めつくす、定刻關屋大會々長の開會の辭に依つて直ちに競技に入り、全滿より選ばれた水の强者等が終始スポーツマンシツプを發揮全力を盡して戰ひ奉天軍優勝し、午後五時過ぎ競技を終了、關屋大會長より賞品の授與あつて閉會した、尙大同公園で二十八日開かれる滿鮮對抗試合に出場の滿洲代表選手は十四日の成績に依つて役員協議の上決定する筈である、成績は左の如くである【寫眞は男子百米自由型】

▽三百米メドレーリレー決勝 1、新京チーム四分三秒九(秉子、重久、米山)安東のイカダ倶樂部棄權の爲新京チーム獨泳

▽千五百米自由型決勝 1、松本太郎(奉天)二十二分四十四秒六　2、川崎茂(新京)廿四分二十九秒七　3、茂木義夫(新京)二十五分十四秒【經過】=奉天松本君最初より斷然强く茂木、川崎君を拔き、茂木、川崎二着爭ひを演じたが、結局松本君二着の川崎君を百米引離して堂々一着となる

▽百米自由型決勝 1、久保義之(奉天)一分七秒三　2、篠忠夬(新京)一分八秒四　3、最星建太郎(奉天)【經過】=久保君スタートより三十米邊りから徐々に引離し二着篠君を三米引離す

▽女子百米自由型決勝 1、上村恭子(敷島高女)二分十秒　2、本間友子(敷島高女)二分十五秒六

▽二百米平泳決勝 1、重久忠(新京)三分九秒三　2、眞木淸(新京)三分十五秒九　3、大竹功(安東)三分十九秒五【經過】=重久君五十米頃より他を引離し二着を三米引離す

▽女子百米平泳決勝 1、植村不二枝(敷島高女)四分〇五秒六【經過】=相手なく獨泳例の鮮やかな泳法で百米で一二分五十六秒フラットのラツプタイムを出す

▽二百米リレー決勝 1、奉天チーム、一分五十六秒七(北瀨、久保、新穗石原田)2、新京チーム一分五十七秒二(篠、川崎、内野、米山)【經過】=第一泳者奉天北瀨、新京篠は最初から猛烈に競り合つたが稍遅れ、そのまゝ第三泳者に持ち越されれ最後に奉天石原田、米山物凄い接戰を演じ米山稍つめた如く思はれたが、石原田强引にトツプを續け手に汗握らせた、結局一ストロークの差で新京惜敗する

▽女子二百米リレー決勝 1、新京(敷島高女)三分二十秒二(中村、村上、有井、桑畑)

▽四百米自由型決勝 1、石原田愿(奉天)五分三十七秒四　2、松本太郎(奉天)五分三十八秒六　3、茂木義夫(新京)六分十一秒四【經過】=五十米ターン迄三者殆んど並行して進み、松本君力泳してトツプに出茂木、石原田の順となり二百米頃より茂木君遅れ最後の五十米で石原田松本並行して競つたが、ワンタツチの左で石原田一着

▽百米自由型決勝 1、出井元治(安東)一分廿二秒四　2、五十嵐(奉天)一分二十四秒四　3、國永黨(新京)一分二十五秒八【經過】=滿洲記錄を有する出井君五十米ターンから拔き出し二着を約五米引離す

▽女子五十米自由型決勝 1、中村和子(敷島高女)四十五秒七　2、桑畑富美子(同)四十六秒八　3、村上かほる(同)五十秒八

▽二百米自由型決勝 1、石原田愿(奉天)二分二十九秒五　2、川崎茂(新京)二分三十四秒二　3、久保義之(奉天)二分三十七秒五【經過】=かつてロスアンゼルスに出場の石原田君矢張り斷然强い、五十米ターンより徐々に引離す續いて川崎、久保君二着を爭つたが約二米差で川崎君二着となる

▽八百米リレー決勝 1、奉天チーム、十分三十秒二(松本、石原田、黑木久保)2、新京チーム、十分三十三秒五(篠、川崎内野、米山)【經過】=奉天チーム最初から頗る優勢第一泳者松本先づ新京の篠を僅かにリードラツプ二分三十三秒、石原田五分四秒二、黑木七分五十秒で川崎、内野を大きく十五米も引離し、最後に新京チーム米山、久保を懸命に追つて五、六米に短縮したが久保うまく滑り込んで奉天チーム勝つ

中銀大同廣場新總行　けふから店開き

市内三支行は廢止

中銀總行は愈よ十五日から大同廣場の新行舍に移轉業務を開始すると共に南廣場、大同大街及興仁大路の各支行は本日から廢止されるが當該各支行に口座を有する政府の預託金は大同廣場總行に預託替されれ從つて前記各支行を支拂行とせる支拂通知書又は出納官吏の振出に係る小切手及支行付預託款通知書で未だ呈示されてゐないものは之を大同廣場の總行に支拂はれることゝなつた、なほ從來の總行營業處は北大街支行として業務を繼續する

深夜の電線泥棒

十四日午前二時十五分頃首都警察廳捜査股に一市民らか電話があり昌平街櫻木小學校附近の電線を切斷してゐる男がゐるとの報に捜査股員が追つ取り刀で現場にかけつけたがその時は既に犯人が逃走した後で、電線百本が長さ十六米にわたつて切斷竊取されてゐた、浮浪滿人の所爲と睨んで目下犯人嚴探中である

輸入組合長に　西村氏決定

新京輸入組合ではさる六月一日より組織改革を行ひ、今回始めて組合長制度を設けることゝなり、七月二十八日の臨時總會で選擧せられるはずのところ役員會附託となりその人選は注目せられてゐたが十三日の役員會で遂に初代組合長にはダイヤ街西村洋行主西村淸兵衛氏が滿場一致推薦せられ同氏の就任をみることゝなつた、なほ幹事には吉野町乾寫眞機店主乾辰三氏、豐樂路食料品商杉尾正一氏が選出せられた評議員その他常務理事等は舊同である

掏摸を捕ふ

驛案内君殊勳

新京驛ホーム案内係淸水勳君(二一)は去る七月二十七日驛荒しの滿人掏摸現行犯を目敏く發見、警護隊員に通報協力して逮捕したが、旅客輻輳シーズン頻々たる驛の盜難事件に鑑み、同君の周到なる注意は以つて模範とするに足るとあつて最近鐵道總局及び鐵路警護隊から夫々金一封御褒美に與つた

埼玉縣教育團

埼玉縣教育視察團一行十五名は十四日午後四時廿分着列車で來京一泊の上國都各方面を見學の豫定

"蛇の目"で管を卷く　不良板場三人

お客を石で料理

十四日午後五時頃吉野町二丁目おでんや「蛇の目」へ同家板場籐某の友人で伊通縣某食堂板場田口某に東一條通「松華」の板場高川榮一が遊びに來て三人でタダ酒をたらふく飮んで高川は先に歸つたが田口は後に殘りすつかりメートルをあげ「大體夜の一時、二時まで働かすのが氣は喰はねえ」とおかみさんにまで食つてかゝる仕末、遂に田口はお客の金君といふ半島人と喧嘩を始め外に引張り出し金君の頭部を石で叩き傷を負はせた、金君の訴へで中央通署員が急行したが田口は既に警察の手が廻つたことに氣付き羽衣町京タク營業所からタクシーを飛ばし伊通縣へ逃げてしまつてゐた、後に殘る藤井はくだをまいて係官を煙に卷くし、參考人として通行した「松華」の高川は刑事室で「警察がなんだ」と大暴れして留置場入り、三人とも雇主を困らせてゐる札付きの不良板場で取調べに當つた中央通署でも板場にろくな奴は居ないと大こぼし

濡れ場に踏み込み　衣類を押ふ

これが證據の品と警察へ

十三日午前中央通署へなまめかしい女の衣服を帶から下着まで全部取揃へて持參、くど〳〵と係官に陳情してゐた一婦人があつた、この婦人は吉林で旅館營業を行つてゐる廣田くに(三四)さんで夫は新京に本店を置く某建築會社に勤務してゐるが、生來の道樂者で昨年五月頃使つてゐた女中の熊本縣天草郡佐伊津村生れ小林スエカ(二二)さんに手を付けてから以來妻の眼を盜んで新京のアパートに妾同樣に圍ひ新京出張の名儀で通つてゐた、當然夫婦の仲は何時もごた〳〵勝ちであつたが仲に入る人があつて六月女と手を切つてほつと一息したのも束の間、最近また〳〵新京出張の回數が多くなるのでさてはと十二日夫の後を追つて來京、市内各所を調べた所大和通大國ホテルに投宿してゐること午後十一時頃判明、早速飛込んでみた所案の如く女を引入れて醜態を演じてゐた室に一歩踏込むと氣付いた女はアツとばかり枕頭にぬぎ捨てゝあつた衣服もそのまゝ寢衣のまゝ逃走したので夫を責めた所女は現在吉野町食道樂松翠方に女中になつて住込んでゐる事判明、殘されてあつた彼女の衣服を持參してかくの如く陳情した譯、中央通署では早速松翠より女を呼出し說諭すると共に飮食業の女中が無斷外泊するとは怪しからんと留置場入りを命じた

男子籃球大會　藍白軍堂々勝つ

全滿大會出場新京代表決定

十四日午前十時より西公園競技場で開催された男子籃球大會は午後引續き擧行され、結局藍白軍堂々優勝新京最初の選手權を獲得し、體聯籃球協會長杯を受け午後六時過ぎ黑田役員閉會を宣して終了、尙九月九日より三日間に亙り新京で擧行の全滿選手權大會出場新京代表選手はこの藍白チームを主體とし各チームより優秀選手をピツクアツプすることゝなり、午後七時より中銀倶樂部で協議會を開いた、戰績は左の如くである

▽第一回戰
中銀42―2)民生部
總務廳33―6)商業
第二國民高等學校38―11交通部
不戰一勝　中央商業、寒江隊、醫大、零々、藍白

▽第二回戰
中銀28―13中央商業
寒江隊27―13總務廳
藍白25―11醫大
第二國民高等學校22―16零々

▽準決勝
中銀32―20寒江隊
藍白24―19第二國民高等學校

▽決勝戰
藍白39(14―12 25―16)28中銀
前半後半共に藍白軍リードし續け大接戰を演じて藍白勝つ

順天、東光區　けふの燈管訓練區域

十五日燈管實施區域は左の如くである

△順天區　大同大街、至聖大路、立信街、百瀨街、豐順街、同治街、長慶街、五色街、龍門街、順天大街、安民大路、永昌路、義和路、惠民路、明德路、神泉路、神泉胡同、同光路、同光胡同、隆禮路、隆禮胡同、寶淸路、寶淸胡同、金輝路、金輝胡同、東光台路、明善路、明善頭胡同、明善二胡同、通遼街、開運街、民樂街、重光街、洪熙街、開元街、萬寶街、治平街、和光路、和光胡同、富錦路、德昌路、德昌胡同、信和路、信和胡同

△東光區　吉林大路、吉林南胡同、至善路、通化路、通化胡同、東光路、東光胡同、平泉路、東同光路、東隆禮路、東寶淸路、東金輝路、永吉街、輝春街、平陽街、樹々勳街、東安街、東安胡同

寫眞は男子百米自由型

タ軍先づ二勝

電業、電々善戰及ばず

職業野球團中の第一人者大阪タイガースを迎へての國都に於ける第一日目(十四日)は西公園球場に於て對電業、(午後三時開始)對電々(午後四時四十五分開始)の二試合が行はれた、電業は大谷―淺原電々は岩崎―村田のバツテリーで何れも好投、守備また善戰したがタイガースの堅壘遂に落ちず電業タ軍の岡田、伊賀上の過失を利して一點を入れたのみで電々遂に得點するに至らず二出川球審の鮮やかな審判に試合は迅速に進み二試合共僅か一時間二十分のレコード的スピードでタイガースが二勝した

▲對電業戰
開始　午後三時(電業先攻)
閉戰　同四時二十分
球審　二出川
壘審　岩瀨、三輪、藤田

スコアー

電業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
タ軍	2	0	0	0	1	0	0	0	A	3A―1

△一回(電業)内山三振、緒方三飛、(タ)岡田三飛、吉井遊飛失低投に生き二進、宍戸の三飛失で吉井生還宍戸二進、村井二四球で滿壘、松木の一、二間安打で藤村、山口生還、景浦二進藤井中飛、伊賀上左飛(電1―タ2)

△二回(電業)大谷遊飛、淺原遊飛、貞池中飛(タ)門前左飛靑木二遊間安打、田四球、藤村、山口共に三振(兩軍0)

△三回(電業)針原左飛、内山三飛、緒方右飛、(タ)景浦四球、松木遊飛、藤井二飛、伊賀上四球、門前三遊間安打に出で滿壘、靑木三振(兩軍0)

△四回(電業)吉井右飛、宍戸投飛、村井左邪飛(タ)岡田四球、藤村左飛、山口三前安打岡田二進、景浦の三飛で岡田三封、山口二進松木中飛(兩軍0)

△五回(電業)大谷左飛、淺原三飛失に出たが貞池の三飛で淺原、貞池二、一壘に併殺(タ)藤井右翼右三壘打、伊賀上捕邪飛、門前の中飛で藤井生還、靑木中飛

(電0―タ1)

△六回(電業)針原三遊間安打に出で内山の三飛で針原、内山併殺、緒方三飛(タ)岡田、藤村共に三飛、山口二飛(兩軍0)

△七回(電業)吉井投手の左を拔く安打、宍戸中飛、村井二越安打、大谷の三飛で村井大谷併殺、(タ)景浦三飛、松木死球、藤井三振伊賀上左飛(兩軍0)

△八回(電業)淺原投飛、貞池針原共に三飛、(タ)門前右飛、靑木中前安打、岡田打者の時靑木投手の牽制にかゝり一、二間に挾殺、岡田中飛、(兩軍0)

△九回(電業)内山の代打長谷川右飛緒方一、二間安打吉井三振、宍戸四球(堀内代走)村井一飛、閉戰四時二十分

▲對電々戰
開始　午後四時四十五分(電々先攻)
閉戰　同六時五分
球審　二出川
壘審　梅本、大辻　山本

スコアー

電々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
タ軍	0	0	0	0	0	3	0	0	A	3A―0

△一回(電々)稻田左飛、山西左翼右二壘打、宇多村四球、岩本の遊飛で宇多村二封山西三進、高台四球で滿壘、村田投飛(タ)本堂遊飛、藤村三飛、山口右邪飛(兩軍0)

△二回(電々)小柳中飛、濱崎三振、森下中飛、(タ)景浦捕飛、松木二飛、藤井右飛(兩軍0)

△三回(電々)稻田三飛、山西中飛、宇多村一邪飛(タ)田中中飛、西村三線寄安打に出で岡田打者の時二盜を試み二壘に刺さる、岡田遊飛(兩軍0)

△四回(電々)岩本二飛、高台三振、村田三振(タ)本堂遊越安打、藤村の三遊間安打に本堂三進、山口中飛藤村二進、景浦四球で滿壘松木三振、藤井中飛(兩軍0)

△五回(電々)小柳左越二壘打、濱崎遊飛失に小柳三進森下の左飛に小柳本壘を狙ひ左手よりの球に本壘で刺さる、この間に濱崎二進、稻田四球、山西三飛、田中遊飛、西村四球、岡田三强襲安打、本堂の投飛に西村三壘に封殺、藤村中飛(兩軍0)

△六回(電々)宇多村右飛、岩本三振、高台右飛(タ)山口一、二間安打、景浦右飛、松木四球、松木打者の時山口二盜打に山口生還松木三進、田中の右越二壘打に松木生還藤井三進、西村の三壘左安打に藤井生還出中三進、岡田四球で滿壘、本堂三振、藤村二飛(電0―タ3)

△七回(電々)村田捕邪飛、小柳三振、濱崎二飛(タ)山口三振、景浦左飛、松木中飛(兩軍0)

△八回(電々)森下二飛、稻田三飛一失に生き山西の三飛失で二進、宇多村中飛、岩本の遊飛で山西二壘に封殺(タ)藤井二飛一失に生きたが田中の遊飛で一、二壘に併殺、西村遊飛(兩軍0)

△九回(電々)高台死球(宇多村代走)に出たが村田の遊飛で併殺、小柳投飛、閉戰六時五分

(電業)	打	得	安	犠	盜	三	四	過
7内山	3	0	0	0	0	1	0	0
代長谷川	1	0	0	0	0	0	0	0
6緒方	4	0	1	0	0	0	0	0
5吉井	4	1	1	0	0	1	0	0
3宍戸	3	0	0	0	0	0	1	0
9村井	4	0	1	0	0	0	0	0
1大谷	3	0	0	0	0	0	0	0
2淺原	3	0	0	0	0	0	0	0
4貞池	3	0	0	0	0	0	0	0
8針原	3	0	1	0	0	0	0	0
計	31	1	4	0	0	2	1	0

(タ軍)	打	得	安	犠	盜	三	四	過
6岡田	3	0	0	0	0	0	2	1
4藤村	4	1	1	0	0	1	0	0
8山口	3	1	1	0	0	1	1	0
7景浦	2	0	0	0	0	0	2	0
3松木	3	0	1	0	0	0	1	0
6藤井	4	1	1	0	0	1	0	0
5伊賀上	3	0	0	0	0	0	1	2
2門前	4	0	1	0	0	0	0	0
1靑木	4	0	2	0	0	1	0	0
計	30	3	7	0	0	4	7	3

◁三壘打―藤井◁併殺―(伊賀上―岡田―松木)(伊賀上―藤村―松木)(伊賀上―藤村―松木)

(電々)	打	得	安	犠	盜	三	四	過
8稻田	3	0	0	0	0	0	1	0
6山西	4	0	1	0	0	0	0	0
7宇多村	3	0	0	0	0	0	1	0
9岩本	4	0	0	0	0	1	0	0
3高台	2	0	0	0	0	1	1	1
2村田	4	0	0	0	0	1	0	0
4小柳	4	0	1	0	0	1	0	0
1濱崎	3	0	0	0	0	1	0	0
5森下	3	0	0	0	0	0	0	0
計	30	0	2	0	0	5	3	1

(タ軍)	打	得	安	犠	盜	三	四	過
5本堂	4	0	1	0	0	1	0	1
4藤村	4	0	1	0	0	0	0	0
8山口	4	1	1	0	1	1	0	0
7景浦	3	0	0	0	0	0	1	0
3松木	3	1	0	0	0	1	1	1
9藤井	4	1	1	0	0	0	0	0
2田中	4	0	1	0	0	0	0	0
1西村	3	0	2	0	0	0	1	0
6岡田	2	0	1	0	0	0	1	1
計	31	3	8	0	1	3	4	3

◁二壘打―山西、小柳、田中◁併殺―(景浦―田中)(岡田―藤村―松木)(山西―小柳―高台)

全國中等野球

坂出商2―1掛川

【甲子園國通】中等野球坂出商業對掛川中學戰は二對0で坂出商業勝つ

坂出	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
掛川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平安6A―5海草

【甲子園國通】中等野球海草中學對平安中學戰は六A對五で平安勝つ

海草	1	0	0	0	0	2	0	2	0	5
平安	0	0	0	0	0	1	3	2	A	6A

タ軍對滿洲國戰は中止

タイガース軍を迎への第二戰對滿洲國、新京倶戰は本十五日西公園球場に擧行豫定のところ都合により對滿洲國戰はとり止めとなり、新京倶との對戰のみ午後五時から擧行されることゝなつた

新京倶とは五時から

遠竹執行官赴任

新京區法院執行官遠竹重彥氏は鐵嶺法院へ轉出することになり十四日挨拶に來社、なほ同氏は家族同伴十五日午前十時の列車で赴任する

康德會館地下室の「味覺」は一寸氣の利いたものを喰はすので一時人氣を呼んでゐたが過日從業員の板場連中全部が經營者の遣り口に尻をまくつて總辭職をやつたので常連の不評を買つてゐる▲經營者と料理人との經緯はこゝには遠慮するが料理と氣分が落ちたことは事實でこのところ「味覺」もとんだ「不覺」をとつたものだ▲近く竣工の海上ビルの食堂を國都グリルが經營するのは余りに統制的であり新京人はより旨く喰はすところが出來るのを望んでゐる、當事者が不覺をとらぬよう切望する次第だ

ラヂオ

けふの番組

【M・T・O・Y 新京放送局】十五日月曜日

朝

六、二五 ニュース（東京）
六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇 中等滿洲語講座 秩父固太郎（大連）
七、一五 朝の音樂
一、吹奏樂 タンホイザーの大行進曲 ワグナー作曲 ヲリバー吹奏樂團
二、ピアノ獨奏 ヴェニスの舟唄 メンデルスゾーン作曲 フリートマン
三、バラライカ合奏 A、いろりのそばで、庭先で B、ふる里戀し ラチコフロシアバラライカオーケストラ
四、管絃樂 ウイリアムテル序曲 ロッシーニ作曲 リユールマン指揮による交響樂團
八、二五 建國體操（東京）
九、〇五 經濟市況（東京）
九、三〇 經濟市況（東京）
一〇、〇〇 家庭講座 慶弔の社交 浮海高子
一〇、二五 料理獻立（大連）
一〇、三五 家庭メモ（大連）
一〇、四〇 經濟市況（大連・新京）
一一、三五 經濟市況（大連）
一一、四〇 經濟市況（東京）
一一、五九 時報

晝

〇、〇〇 晝の演藝
新日本音樂
一、落陽 久本玄智作曲 (イ)滿洲舞曲 (ロ)新興の歌
二、希望の光 久本玄智作曲
尺八一部 山本饒山　同 渡上嗣山　尺八二部 平井恭山　同 安達藍山　箏 石瀬雅之　同 河崎久子
〇、三〇 ニュース（東京・新京）
一、〇〇 經濟市況（大連・新京）
三、〇〇 經濟市況（大連・新京）
三、五〇 經濟市況（東京）
四、〇〇 ニュース（東京・新京）
四、三〇 野球試合實況 西公園野球場より中繼 アナウンサー 田中（市況・ニュースの時間には中斷す）
四、四〇 經濟市況（大連・新京）
五、二〇 ニュース（奉天）（鮮語）（奉天）
演藝（野球なき場合放送）

夜

六、〇〇 子供の時間 夏休樂しみ袋（二）（東京）
六、二〇 コドモの新聞 村岡花子（東京）
六、二五 ラヂオ夏期大學（奉天）
滿洲の漢方醫學及漢藥 醫學博士 岡西爲人
七、〇〇 ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇 講演 吉林省の防空警護に就て 吉林省次長 三谷清
七、五〇 箏曲と尺八合奏（大連）
一、箏曲 雪 尺八 名和啓童 三絃 名和幸代
二、尺八合奏 瀧落の曲 尺八 名和啓童 同 唐澤是童
八、二〇 俚謠連夜三題（第三夜）（札幌）追分節 唄 鈴木清月 尺八 工藤豊月
八、三〇 ラヂオドラマ（東京）近藤重藏 小野金次郎作 河津清三郎 小宮一晃 大井正夫 外 東京放送管絃樂團 演出 AK演出班
八、五五 東西音くらべ（錄音）（東京）（大阪）(イ)日光鳴龍 知恩院鶯張 (ロ)四天王寺の大太鼓 大石の陣太鼓 (ハ)道成寺の鐘 め組の半鐘
九、一〇 長唄川二題（東京）一、春の隅田（花の友）二、夏の涼み（多摩川）
唄 芳村伊四郎 同 芳村伊千三郎 同 芳村伊千十郎 三味線 杵屋榮藏 同 杵屋榮次郎 同 杵屋榮之助 笛 望月太喜四郎 小鼓 望月太左衛門 大鼓 望月太七 太鼓 福原鶴三郎
九、三九 時報・ニュース・ニュース解説（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、三〇 ニュース再放送
一〇、四〇 北滿の時間（哈爾濱）アナウンサー 荒井（書）田中（夜）上森

新日本音樂（後〇・〇一）

落陽（滿洲舞曲 新興の歌）
"希望の光り"

▲落陽 滿洲事變にヒントを得て幻想曲風に尺八・箏と三絃曲として作曲したもの
▲希望の光 希望の光に輝く氣分を圓舞曲形式に作曲されたもの

若殿膝栗毛（上演上映）

中川雨之助　竹中一郎畫

（八十四）

江戸の想ひ出

「わッ」といふと小十郎、打下された白刃を、受ける暇に事欠いで、頭で受けたから堪まらない、ザクリと割つけられた頭は、さながら西瓜を破つたやう、醍醐味噌が切口から散亂し、川の流れをサッと朱に染めた。それを手早く曳摺り上げて、バッサリ首を打落した。

「喝采々々……」

舟内の船頭取で、向う岸では歡聲が揚がつた。かと思ふとその一隊は見る〳〵中に河霧の吹き散る如く、飄然として又た、何處ともなく立去つた。

いくら血の廻りの惡い二人でも斯うなるともう生きた心地が無い。船饅五太夫、月の輪の鋭五郎、紋に摑まつてガタ〳〵顫ひだ。

「船頭だと思つたらあれは正しく長七郎様だ。是は早やどうも。月城代ノ一隠れ〳〵は、どうなります」

「どんなお詫でも致します、あたし達のお力で、命ばかりは助かりますやう……」

ところが、敵小十郎の首を上げてしまふと、此方の船を置いてけぼりにして、長七郎、船を岸に着けると、仙之助を連れて、そのまゝ萬屋へドン〳〵引揚てしまつた。

雨か風か、いよ〳〵空模様が怪しくなれ、五太夫夢ます〳〵落ついて居られない。

「鋭五郎、おまへは何も知るまいが、雨宮小十郎は、江戸築地の永樂屋主人を殺し、その家を傾きかけた惡人で、長七郎さまのお供をして居るあの若い男が、永樂屋の倅仙之助で、つまり親の敵打をしたわけだ」と三右衛門の説明。

「人も有らうに、敵を庇護つておくなんて、どこ迄運が惡いのだらう。これぢや滅多に助かりッこは無え」

鋭五郎たう〳〵手放しで泣きだした。

駿府の町はづれ、狐ケ島の仕返しをしきりに東へ急ぐ旅人は、昨夜安倍川で、親の敵を討つたばかりの仙之助であつた。

「首尾好く仇討も濟んだ上は、一刻も早く江戸に歸り、妹お琴と共々、永樂屋の家名を再興せよ」と、萬屋の二階で、長七郎にさう言はれ、路銀にしては多過ぎる程の金子まで惠まれ、仙之助は有難涙にむせんだ。

「若様と別れて、一人で江戸へ歸るのは殘念でございますが、死んだ兩親の靈に、仇討のことも早く知らせて遣りたうございます……一體若様は、いつ頃江戸へお歸りなんでございます」

「江戸へか……」

「へい」

「サア、何時の頃か、それは分らぬ」

「そんな、たより無いことを仰有らないで、宜い加減に歸つておくんなさいまし。妹と二人、築地のお屋敷で、御懇親じの御奉公が致し度うございます」

仙之助の言葉で、築地の屋敷の過ぎし日の想ひ出が、長七郎の胸にあり〳〵と甦つた。

「さうだ、去年の夏は、お琴と二人、俺の兄等と、煙火なぞ弄んで、無邪氣に過ごした夜もあつて面白かつたのう」

傍で、話を聞いて居た兵十郎に三平太が、

「旅も面白いが、江戸は好い處、ちよつと忘られぬ味がございます」さも懐かしさうだ。

江戸生活の面白さは、長七郎にも異議は無かつた。しかし大納言の御殿である哀しさに、その江戸にも居れなかつた。

「なぜ俺も、仙之助のやうに、町人の子にでも生れて來なかつたのだ」